

令和5（2023）年度

栃木県政世論調査

調査結果（速報）

令和5（2023）年9月

栃 木 県

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の結果	2
1	暮らしの変化について	
(1)	暮らしの変化	2
(2)	暮らしが悪くなった理由	3
(3)	暮らしの満足度	4
(4)	今後の暮らしの状況	5
(5)	今後の暮らしで力を入れる点	6
2	県政への要望について	
(1)	県政への要望	7
3	日常生活について	
(1)	文化・芸術活動について	9
(2)	スポーツ活動について	10
(3)	住んでいる地域について	11
(4)	社会貢献活動について	12
(5)	県の事業や催し、案内などの情報入手手段	13
(6)	知りたい県政情報	14
4	栃木県への愛着と誇りについて	
(1)	栃木県に対する愛着	15
(2)	栃木県に愛着を感じる理由	16
(3)	栃木県の魅力あるものとして自慢できるもの	17
5	SDGsについて	
(1)	SDGsの認知度	18
(2)	SDGsのどのようなことを知っているか	19
6	地域防災について	
(1)	災害に対する備え	20
(2)	災害の際に必要な情報について知っていること	21
(3)	防災訓練の参加状況	22
7	男女平等意識について	
(1)	社会全体の中での男女の地位の平等感	23
(2)	固定的な性別役割分担意識	24
(3)	働く場での男女の地位の平等感	25

目 次

8 とちぎの元気な森づくり県民税について

- (1) 重要と考える森林の働き 26
- (2) 「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組の中で重要なもの 27

9 気候変動対策について

- (1) 気候変動による影響について知っていること 28
- (2) 「カーボンニュートラル」の認知度 29
- (3) 実際に行っている気候変動対策 30

10 地域のつながりについて

- (1) 現在のご近所との関係 31
- (2) 日常生活で困ったときに相談できる場所 32

11 地域活動について

- (1) 地域活動が活発に行われているか 33
- (2) 地域活動への参加状況 33

12 ケアラーについて

- (1) ケアラーという言葉の認知度 34
- (2) ケアラー当事者になる可能性 34
- (3) ケアラーへの支援策 35

13 食の安全・安心について

- (1) 食品の安全性に対する不安 36
- (2) 食品の安全性について不安に思うもの 37
- (3) 食の安全に関する情報を得られているか 38

14 食に関する意識と実践について

- (1) 生鮮食品購入の際、産地を確認しているか 39
- (2) 農業体験をした経験 39

15 犯罪と治安対策について

- (1) 県内の治安状況への認識 40
- (2) 不安を感じる犯罪 41
- (3) 交通事故を抑止するための対策 42

I 調査の概要

1 調査目的

この調査は、現在あるいは今後解決すべき課題について、県民の県政に対する意識・要望などを的確に把握し、県政施策の企画・立案及び県政執行上の参考とすることを目的とする。

2 調査項目

- | | |
|------------------------|---------------------|
| (1) 暮らしの変化について* | (9) 気候変動対策について |
| (2) 県政への要望について* | (10) 地域のつながりについて |
| (3) 日常生活について* | (11) 地域活動について |
| (4) 栃木県への愛着と誇りについて | (12) ケアラーについて※ |
| (5) SDGsについて | (13) 食の安全・安心について |
| (6) 地域防災について | (14) 食に関する意識と実践について |
| (7) 男女平等意識について | (15) 犯罪と治安対策について |
| (8) とちぎの元気な森づくり県民税について | *印は時系列調査、※印は新規調査 |

3 調査設計

- | | |
|----------|-------------------------------|
| (1) 調査地域 | 栃木県全域 |
| (2) 調査対象 | 満18歳以上の男女個人 |
| (3) 標本数 | 2,000 |
| (4) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 郵送法（郵送配布ー郵送回収又はインターネット回収の選択式） |
| (6) 調査時期 | 令和5（2023）年6月5日～6月30日 |

4 調査機関

株式会社タイム・エージェント

5 回収結果

回収数（率） 1,115（55.8%）

6 調査結果の見方

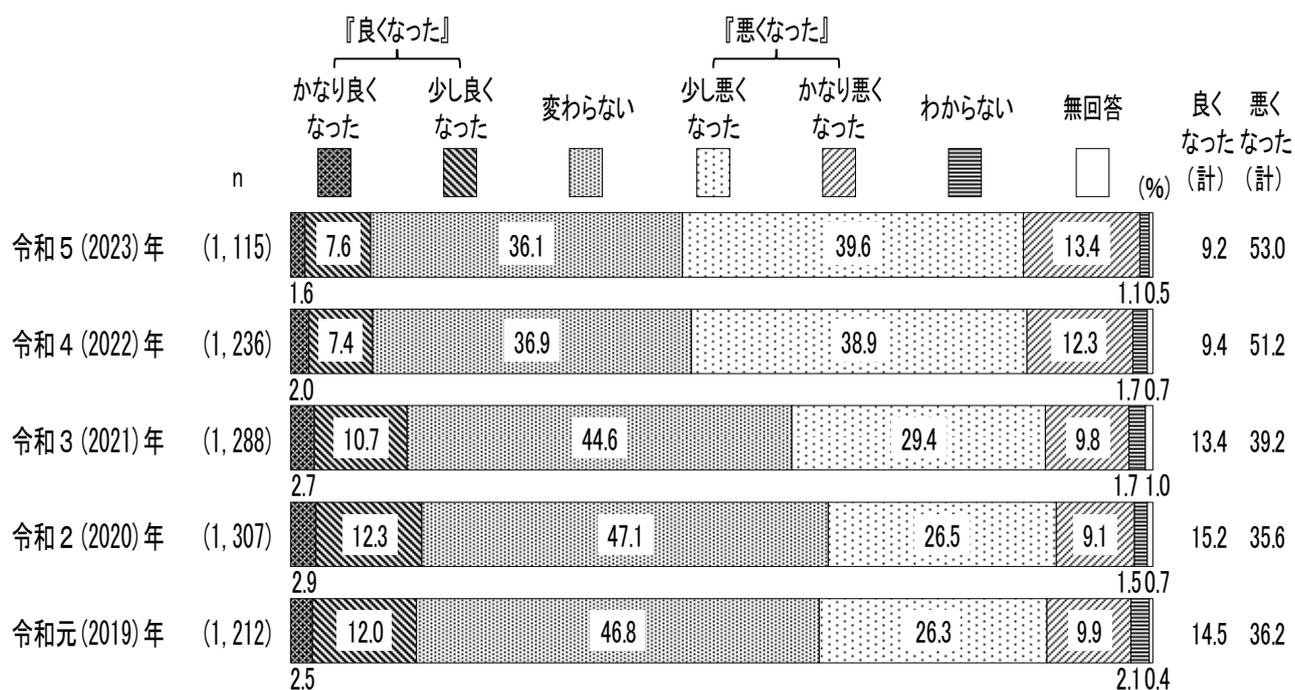
- (1) 比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100.0%にならないことがある。
- (2) 基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は件数を100%として算出した。
- (3) 1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- (4) (平成29年度からは)18歳以上の方を調査対象に実施しているが、回答者数が少ないため年齢別分析の説明ではふれていない。

II 調査の結果

1 暮らしの変化について

(1) 暮らしの変化

問1 あなたの暮らしは、この5～6年の間にどう変わりましたか。次の中から1つ選んでください。 [n = 1,115]



全体で見ると、「かなり良くなった」(1.6%)と「少し良くなった」(7.6%)の2つを合わせた『良くなった』(9.2%)が1割弱となっている。一方、「少し悪くなった」(39.6%)と「かなり悪くなった」(13.4%)の2つを合わせた『悪くなった』(53.0%)が5割台半ば近くとなっている。また、「変わらない」(36.1%)が3割台半ばを超えている。

【過去調査との比較】

過去の調査結果と比較すると、『悪くなった』が令和2(2020)年より増加傾向が続き、令和2(2020)年より17.4ポイント増加している。

【性別】

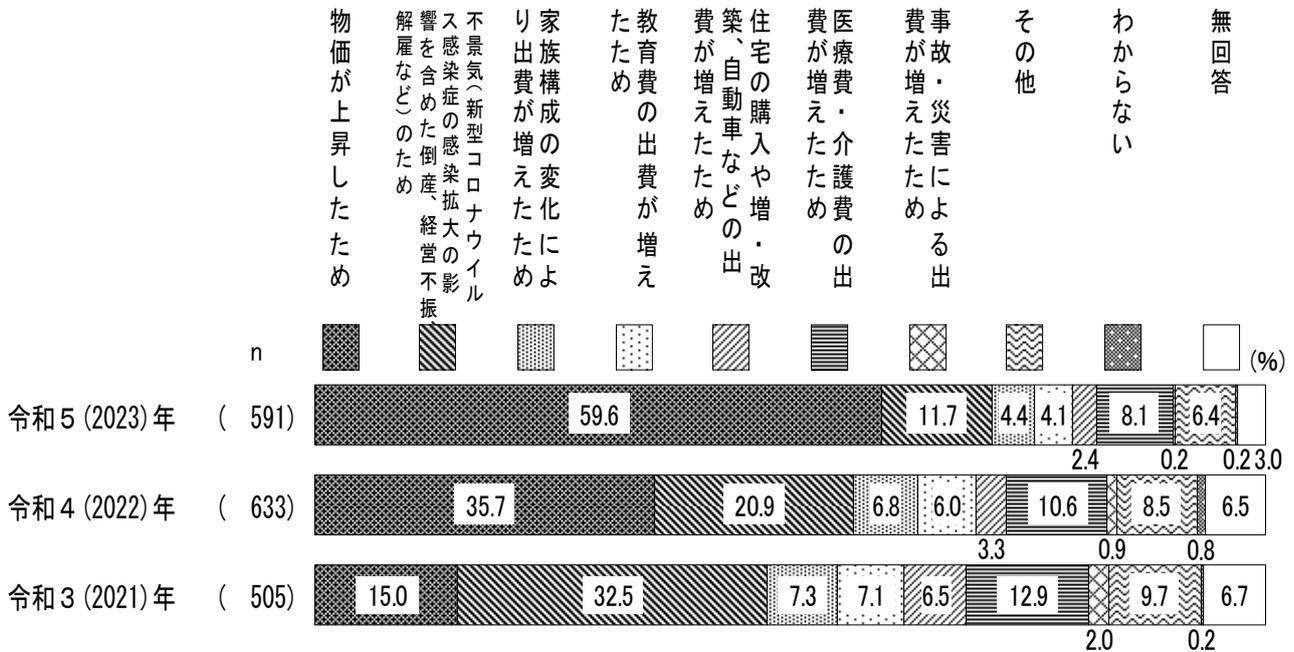
大きな傾向の違いはみられない。

【性/年齢別】

『良くなった』では〈男性30歳代〉が31.3%、〈女性20歳代〉が20.0%と高くなっている。一方、『悪くなった』では〈男性65～69歳〉が73.4%と高くなっている。

(2) 暮らしが悪くなった理由

(問1で選択肢「少し悪くなった」、「かなり悪くなった」を選んだ方のみお答えください)
 問2 悪くなったのは、主にどのようなことからですか。もっとも大きな要因を1つ選んでください。 [n=591]



全体で見ると、「物価が上昇したため」(59.6%)が6割弱で最も高く、次いで「不景気(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を含めた倒産、経営不振、解雇など)のため(以下『不景気のため』という。)」(11.7%)、「医療費・介護費の出費が増えたため」(8.1%)の順となっている。

【過去調査との比較】

前回(令和4(2022)年)の調査結果と比較すると、「物価が上昇したため」が23.9ポイント増加している。一方、『不景気のため』が9.2ポイント減少している。

【性別】

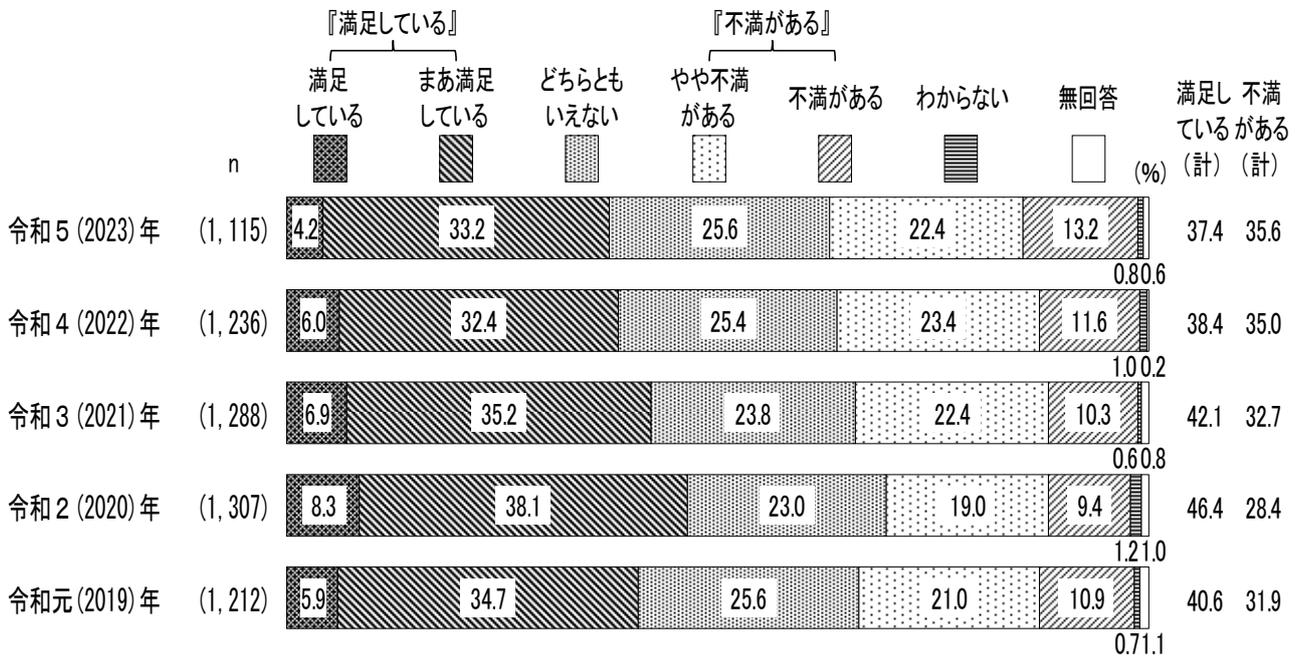
『不景気のため』では〈男性〉(19.4%)が〈女性〉(5.8%)より13.6ポイント高くなっている。「物価が上昇したため」では〈女性〉(63.9%)が〈男性〉(53.6%)より10.3ポイント高くなっている。

【性/年齢別】

「物価が上昇したため」では〈女性20歳代〉が78.6%、〈女性40歳代〉が73.0%と高くなっている。『不景気のため』では〈男性20歳代〉が30.8%、〈男性30歳代〉が25.0%、〈男性50歳代〉が24.4%、〈男性40歳代〉が20.9%と高くなっている。「家族構成の変化により出費が増えたため」では〈男性30歳代〉が18.8%と高くなっている。「教育費の出費が増えたため」では〈男性60~64歳〉が14.8%と高くなっている。「医療費・介護費の出費が増えたため」では〈男性30歳代〉が18.8%と高くなっている。

(3) 暮らしの満足度

問3 あなたは、今の暮らしについてどの程度満足していますか。次の中から1つ選んでください。 [n = 1,115]



全体で見ると、「満足している」(4.2%)と「まあ満足している」(33.2%)の2つを合わせた『満足している』(37.4%)が3割台半ばを超えている。一方、「やや不満がある」(22.4%)と「不満がある」(13.2%)の2つを合わせた『不満がある』(35.6%)は3割台半ばとなっている。また、「どちらともいえない」(25.6%)が2割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

過去の調査結果と比較すると、『満足している』が令和2(2020)年より減少傾向が続き、令和2(2020)年より9.0ポイント減少している。

【性別】

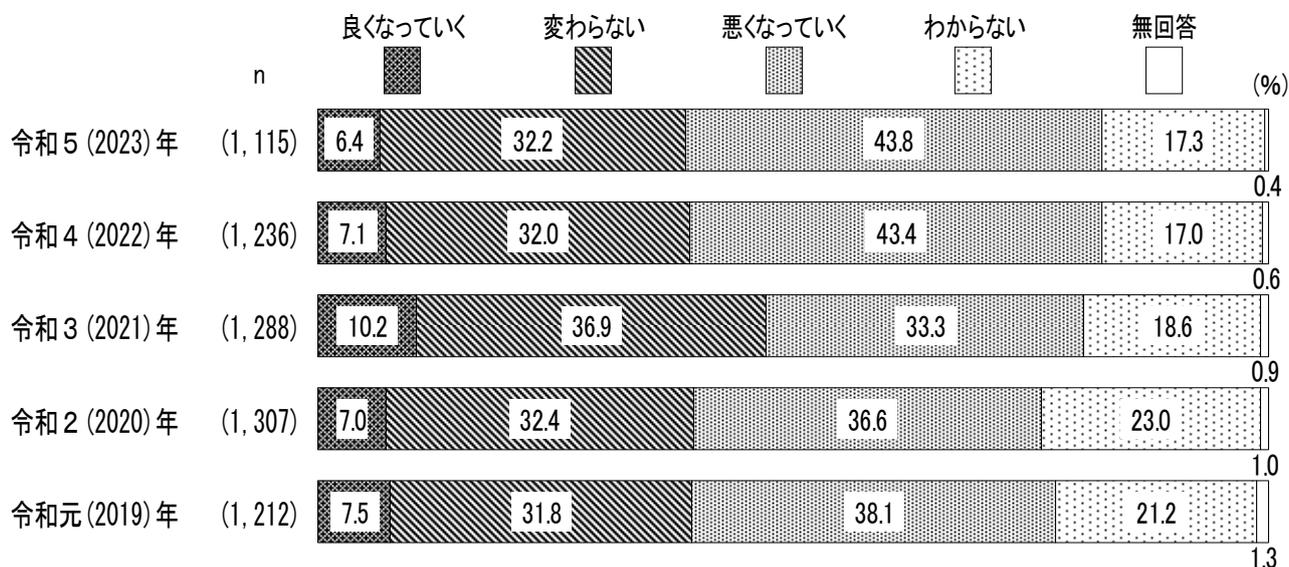
大きな傾向の違いはみられない。

【性/年齢別】

『満足している』では〈女性20歳代〉が54.3%、〈男性30歳代〉が54.2%と高くなっている。一方、『不満がある』では〈男性65~69歳〉が48.9%、〈男性50歳代〉が45.6%と高くなっている。

(4) 今後の暮らしの状況

問4 あなたの暮らしは、これから先どうなっていくと思いますか。次の中から1つ選んでください。
[n = 1,115]



全体で見ると、「悪くなっていく」(43.8%)が4割台半ば近くとなっており、「変わらない」(32.2%)が3割強となっている。

【過去調査との比較】

過去の調査結果と比較すると、「悪くなっていく」が令和3(2021)年より増加傾向が続き、令和3(2021)年より10.5ポイント増加している。

【性別】

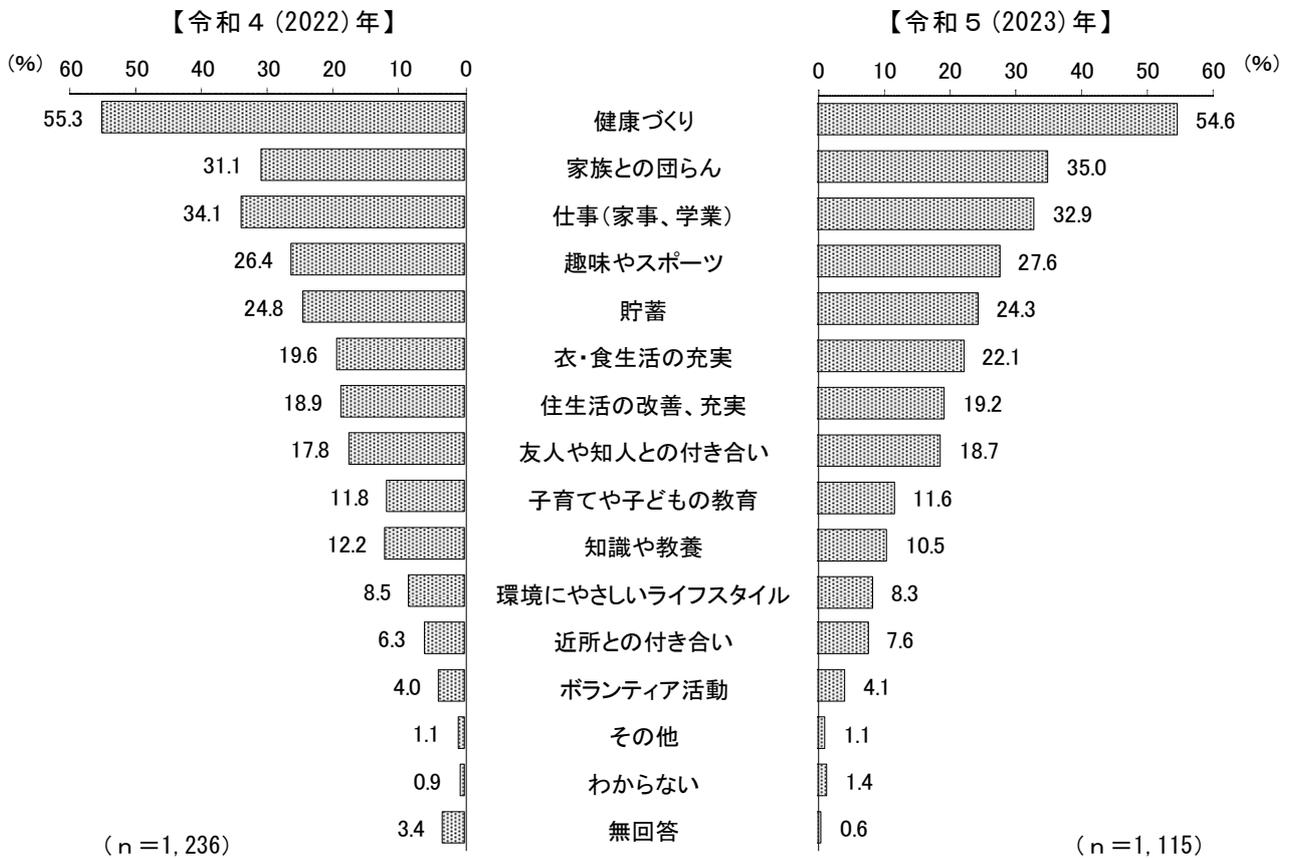
「悪くなっていく」では、〈男性〉(47.6%)が〈女性〉(40.5%)より7.1ポイント高くなっている。

【性/年齢別】

「良くなっていく」では〈女性20歳代〉が25.7%、〈男性20歳代〉が20.0%、〈男性30歳代〉が16.7%と高くなっている。一方、「悪くなっていく」では〈男性50歳代〉が60.8%、〈男性60～64歳〉が57.4%、〈男性65～69歳〉が53.3%と高くなっている。

(5) 今後の暮らしで力を入れる点

問5 あなたは、今後の暮らしの中で、どのような点に力を入れていきたいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。 [n = 1,115]



全体でみると、「健康づくり」(54.6%)が5割台半ば近くと最も高く、次いで「家族との団らん」(35.0%)、「仕事(家事、学業)」(32.9%)、「趣味やスポーツ」(27.6%)、「貯蓄」(24.3%)の順となっている。

【過去調査との比較】

前回(令和4(2022)年)の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

【性別】

「趣味やスポーツ」では〈男性〉(36.2%)が〈女性〉(21.1%)より15.1ポイント高くなっている。また、「仕事(家事、学業)」では〈男性〉(39.4%)が〈女性〉(27.9%)より11.5ポイント高くなっている。一方、「健康づくり」では〈女性〉(59.6%)が〈男性〉(49.0%)より10.6ポイント高くなっている。

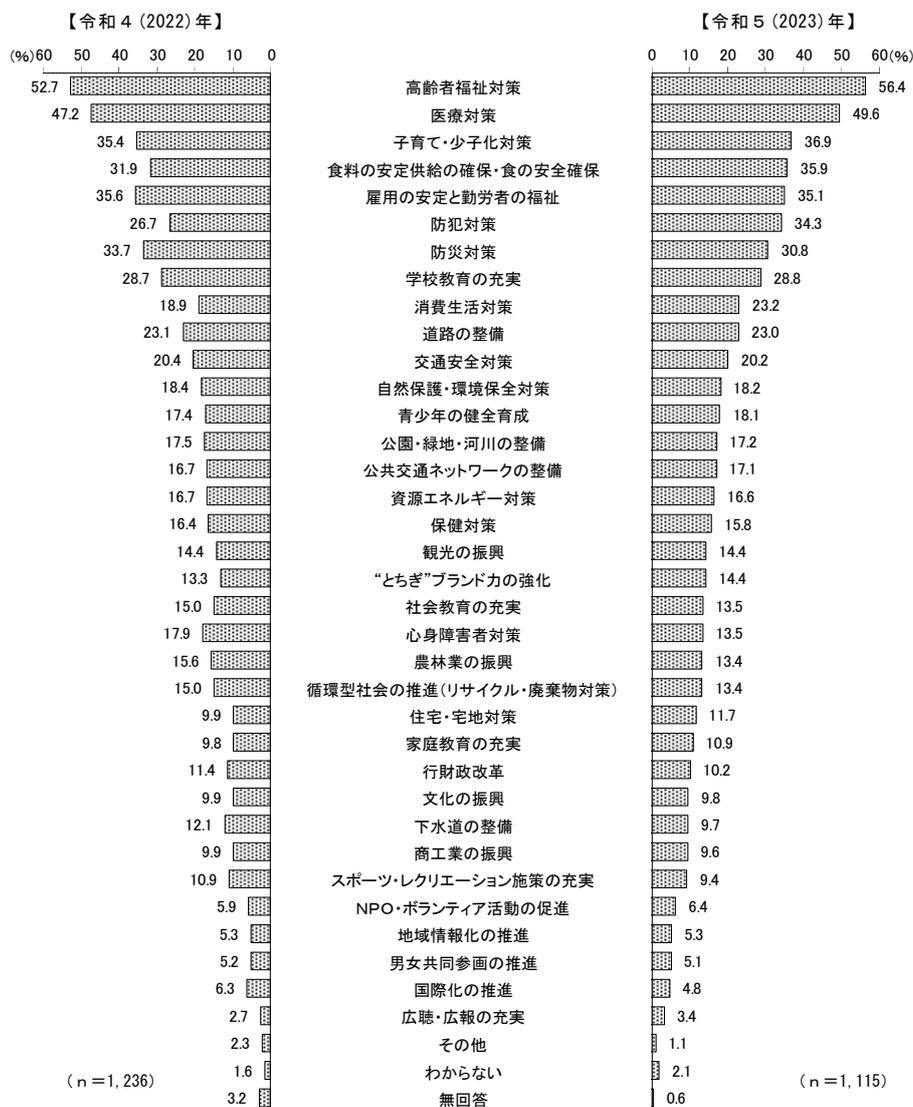
【性/年齢別】

「健康づくり」では〈女性65~69歳〉が82.7%と高くなっている。「家族との団らん」では〈女性30歳代〉が57.6%と高くなっている。「仕事(家事、学業)」では〈男性20歳代〉が72.5%と高くなっている。「趣味やスポーツ」では〈男性60~64歳〉が53.7%と高くなっている。「貯蓄」では〈女性50歳代〉が45.7%と高くなっている。

2 県政への要望について

(1) 県政への要望

問6 県では、皆様のご理解とご協力を得ながら、「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」をめざして様々な仕事をしています。あなたが、県政に対して、特に力を入れてほしいことは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。 [n = 1,115]



全体でみると、「高齢者福祉対策」(56.4%)が5割台半ばを超えて最も高く、次いで「医療対策」(49.6%)、「子育て・少子化対策」(36.9%)、「食料の安定供給の確保・食の安全確保」(35.9%)、「雇用の安定と勤労者の福祉」(35.1%)、「防犯対策」(34.3%)の順となっている。

【性別】

「食料の安定供給の確保・食の安全確保」では〈女性〉(40.2%)が〈男性〉(29.6%)より10.6ポイント高くなっている。

【性/年齢別】

「高齢者福祉対策」では〈女性65～69歳〉が78.8%と高くなっている。「医療対策」では〈女性50歳代〉が62.0%と高くなっている。「子育て・少子化対策」では〈男性30歳代〉が70.8%と高くなっている。「食料の安定供給の確保・食の安全確保」では〈女性60～64歳〉が50.0%と高くなっている。「雇用の安定と勤労者の福祉」では〈男性20歳代〉が57.5%と高くなっている。

[過去の調査結果一年齢別]

(上位5項目)

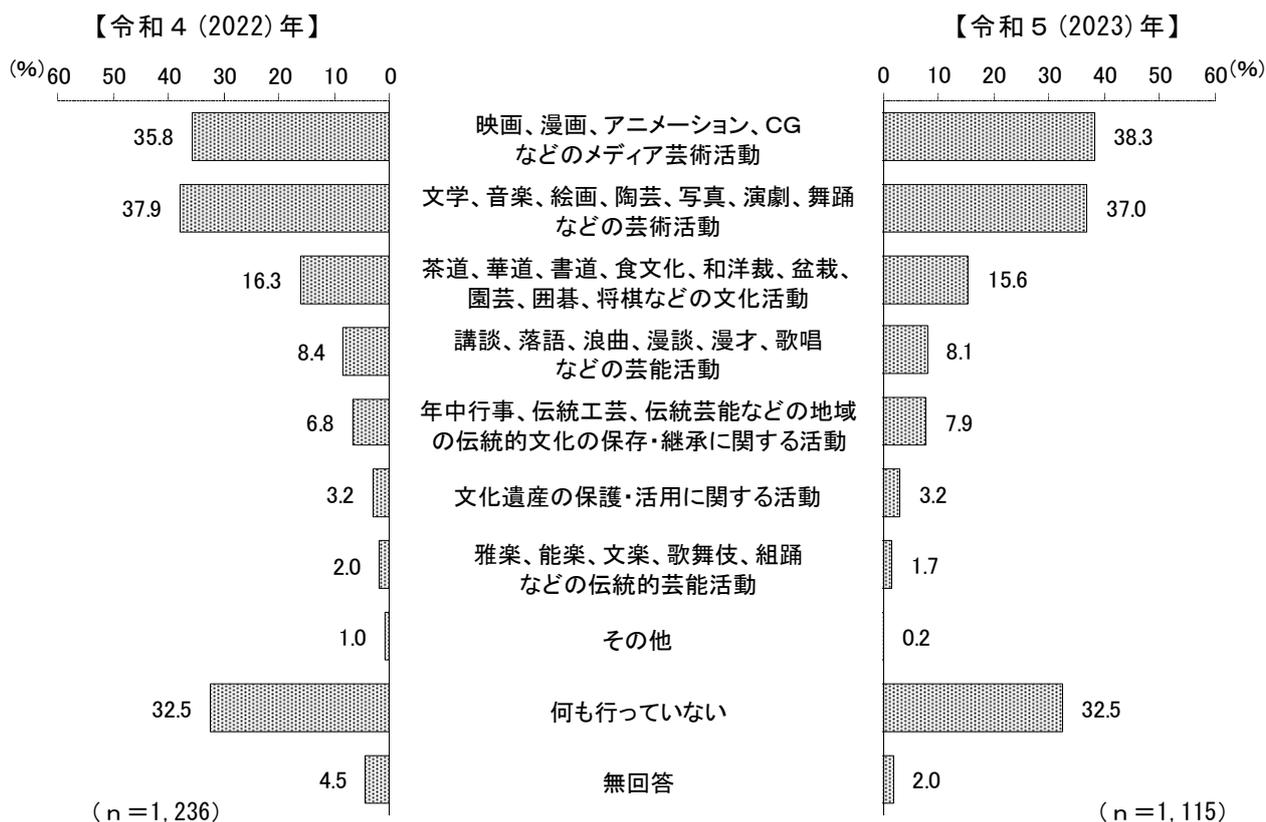
年齢	順位	1位	2位	3位	4位	5位	
	年						
全体	令和5(2023)年 (n=1,115)	高齢者福祉対策 56.4%	医療対策 49.6%	子育て・少子化対策 36.9%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 35.9%	雇用の安定と勤労者 の福祉 35.1%	
	令和4(2022)年 (n=1,236)	高齢者福祉対策 52.7%	医療対策 47.2%	雇用の安定と勤労者 の福祉 35.6%	子育て・少子化対策 35.4%	防災対策 33.7%	
	令和3(2021)年 (n=1,288)	高齢者福祉対策 52.7%	医療対策 51.9%	防災対策 38.5%	雇用の安定と勤労者 の福祉 36.3%	子育て・少子化対策 35.2%	
	令和2(2020)年 (n=1,307)	高齢者福祉対策/医療対策		53.3%	防災対策 40.1%	雇用の安定と勤労者 の福祉 36.3%	子育て・少子化対策 31.9%
	令和元(2019)年 (n=1,212)	高齢者福祉対策 59.1%	医療対策 50.7%	子育て・少子化対策 37.5%	雇用の安定と勤労者 の福祉 36.5%	防犯対策 34.7%	
20 〜 39 歳	令和5(2023)年 (n=188)	子育て・少子化対策 59.0%	雇用の安定と勤労者 の福祉 46.3%	学校教育の充実 44.1%	医療対策 43.1%	防犯対策 33.5%	
	令和4(2022)年 (n=213)	子育て・少子化対策 52.1%	雇用の安定と勤労者 の福祉 43.7%	医療対策 41.8%	学校教育の充実 40.4%	防災対策 37.6%	
	令和3(2021)年 (n=288)	子育て・少子化対策 58.7%	学校教育の充実 44.8%	医療対策 42.4%	雇用の安定と勤労者 の福祉 41.0%	防災対策 37.5%	
	令和2(2020)年 (n=218)	子育て・少子化対策 52.3%	医療対策 46.8%	学校教育の充実 46.3%	雇用の安定と勤労者 の福祉 41.3%	防災対策 37.2%	
	令和元(2019)年 (n=234)	子育て・少子化対策 56.4%	医療対策 49.1%	雇用の安定と勤労者 の福祉 44.9%	学校教育の充実 42.3%	交通安全対策 41.5%	
40 〜 59 歳	令和5(2023)年 (n=329)	医療対策 55.0%	高齢者福祉対策 51.1%	雇用の安定と勤労者 の福祉 45.0%	子育て・少子化対策 38.6%	防犯対策 34.7%	
	令和4(2022)年 (n=379)	医療対策 53.6%	高齢者福祉対策 50.1%	雇用の安定と勤労者 の福祉 46.2%	子育て・少子化対策 39.6%	学校教育の充実/ 防災対策 34.8%	
	令和3(2021)年 (n=398)	医療対策 54.5%	高齢者福祉対策 48.7%	雇用の安定と勤労者 の福祉 42.2%	防災対策 38.7%	子育て・少子化対策 33.2%	
	令和2(2020)年 (n=449)	医療対策 55.0%	高齢者福祉対策 49.7%	雇用の安定と勤労者 の福祉 46.3%	防災対策 43.4%	学校教育の充実 34.7%	
	令和元(2019)年 (n=392)	高齢者福祉対策 54.8%	医療対策 51.8%	雇用の安定と勤労者 の福祉 42.1%	子育て・少子化対策 39.0%	防犯対策 35.5%	
60 〜 69 歳	令和5(2023)年 (n=221)	高齢者福祉対策 67.4%	医療対策 51.6%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 38.0%	防犯対策 37.6%	防災対策 35.7%	
	令和4(2022)年 (n=228)	高齢者福祉対策 61.4%	医療対策 46.9%	防災対策 32.0%	雇用の安定と勤労者 の福祉 31.6%	子育て・少子化対策 30.7%	
	令和3(2021)年 (n=247)	高齢者福祉対策 67.6%	医療対策 59.5%	防災対策 41.7%	雇用の安定と勤労者 の福祉 36.0%	防犯対策 30.8%	
	令和2(2020)年 (n=271)	高齢者福祉対策 62.7%	医療対策 55.4%	防災対策 43.2%	雇用の安定と勤労者 の福祉 30.3%	防犯対策 26.9%	
	令和元(2019)年 (n=258)	高齢者福祉対策 67.4%	医療対策 52.7%	防災対策 33.7%	子育て・少子化対策/防犯対策 32.9%		
70 歳 以上	令和5(2023)年 (n=355)	高齢者福祉対策 73.8%	医療対策 47.6%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 41.4%	防犯対策 31.8%	防災対策 27.9%	
	令和4(2022)年 (n=379)	高齢者福祉対策 67.5%	医療対策 44.1%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 37.2%	防災対策 33.0%	防犯対策 26.9%	
	令和3(2021)年 (n=312)	高齢者福祉対策 67.9%	医療対策 51.0%	防災対策 37.8%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 30.8%	防犯対策 28.2%	
	令和2(2020)年 (n=315)	高齢者福祉対策 67.9%	医療対策 54.3%	防災対策 34.6%	防犯対策 28.6%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 26.0%	
	令和元(2019)年 (n=299)	高齢者福祉対策 75.6%	医療対策 49.2%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 33.4%	交通安全対策 32.4%	防犯対策 30.1%	

3 日常生活について

(1) 文化・芸術活動について

問7 あなたが日ごろ行っている文化・芸術活動（鑑賞を含む）は、どのようなものですか。
次の中からいくつでも選んでください。 [n = 1, 115]

	令和4年	(上位3項目) 令和5年
・ 映画、漫画、アニメーション、CGなどの メディア芸術活動	35.8%	38.3%
・ 文学、音楽、絵画、陶芸、写真、演劇、舞踊などの 芸術活動	37.9%	37.0%
・ 茶道、華道、書道、食文化、和洋裁、盆栽、 園芸、囲碁、将棋などの文化活動	16.3%	15.6%

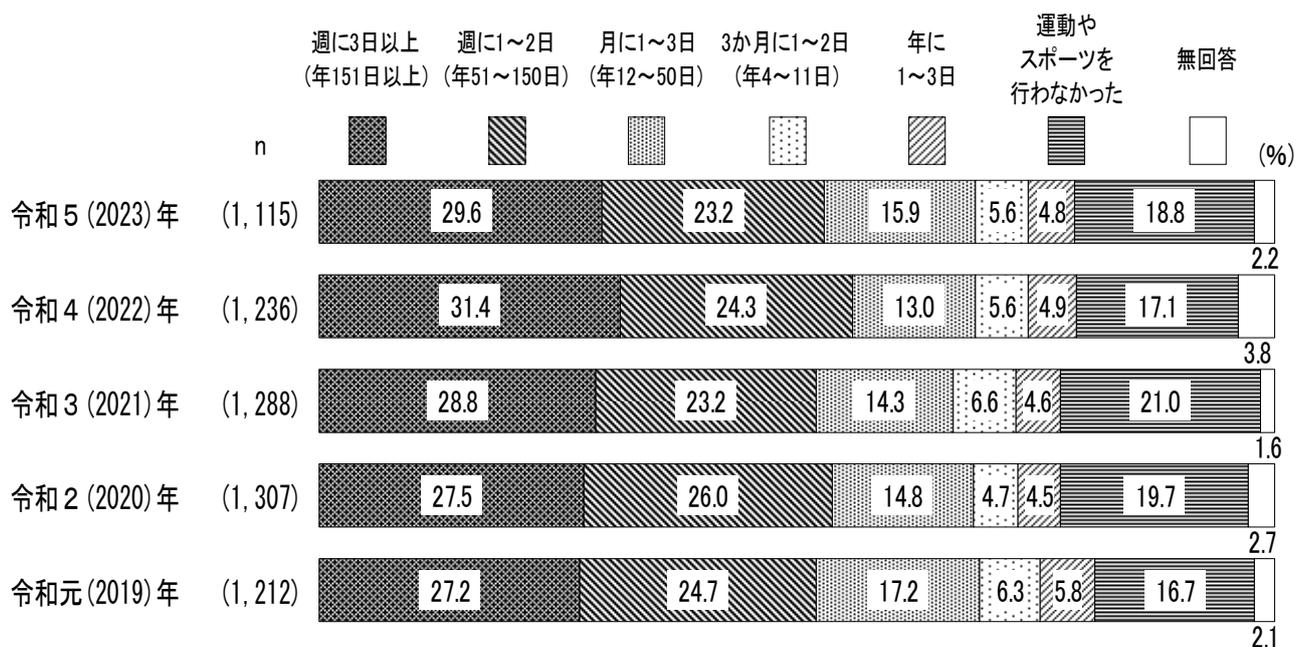


(2) スポーツ活動について

問8 あなたは、この1年間にどの程度運動やスポーツ(※)を行いましたか。次の中から1つ選んでください。 [n = 1,115]

※ 運動やスポーツには、ウォーキング(散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなど)、階段昇降(2アップ3ダウンなど)、ジョギング、水泳、体操(ラジオ体操、エアロビクスなど)、室内運動器具を使ってする運動、レクリエーションスポーツ(フライングディスク、スポーツチャンバラなど)、ゲートボール、登山、ゴルフ、釣り、サイクリングのほか、子どもとの体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすことなどを含みます。

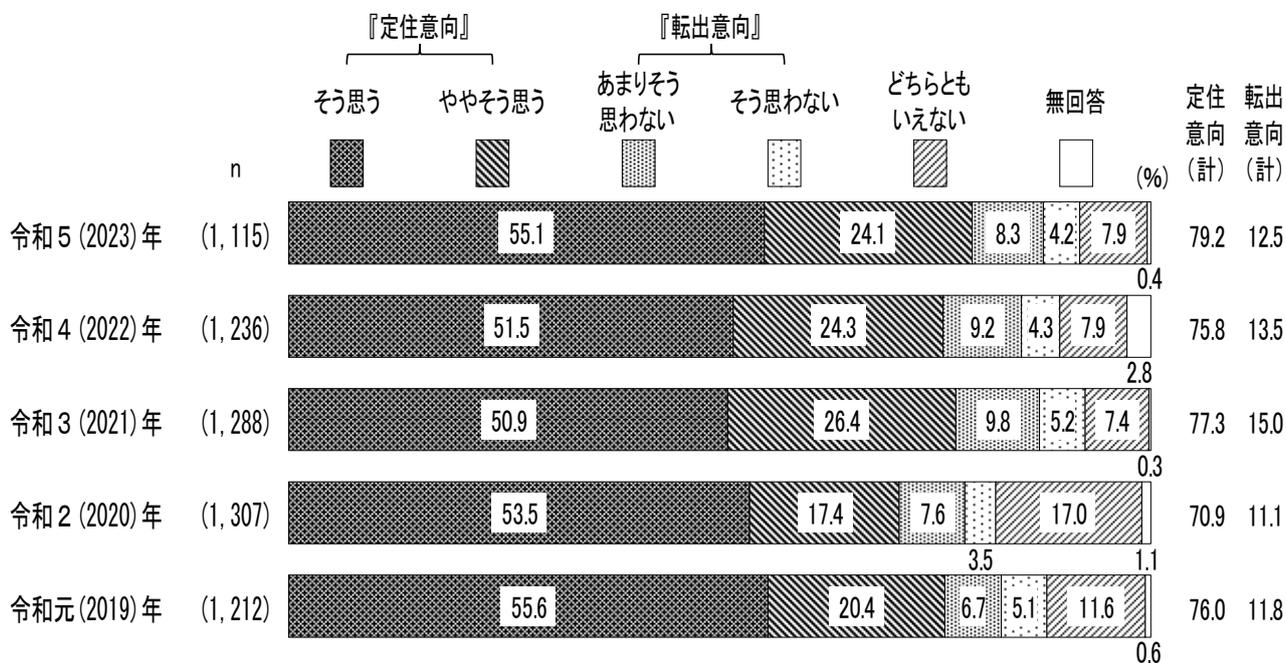
	令和4年		令和5年
・ 週に3日以上(年151日以上)	31.4%		29.6%
・ 週に1~2日(年51~150日)	24.3%		23.2%
・ 月に1~3日(年12~50日)	13.0%	⇒	15.9%
・ 3ヶ月に1~2日(年4~11日)	5.6%		5.6%
・ 年に1~3日	4.9%		4.8%
・ 運動やスポーツを行わなかった	17.1%		18.8%



(3) 住んでいる地域について

問9 あなたは、住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。 [n = 1,115]

	令和4年		令和5年
・ そう思う	51.5%		55.1%
・ ややそう思う	24.3%		24.1%
・ あまりそう思わない	9.2%	⇒	8.3%
・ そう思わない	4.3%		4.2%
・ どちらともいえない	7.9%		7.9%

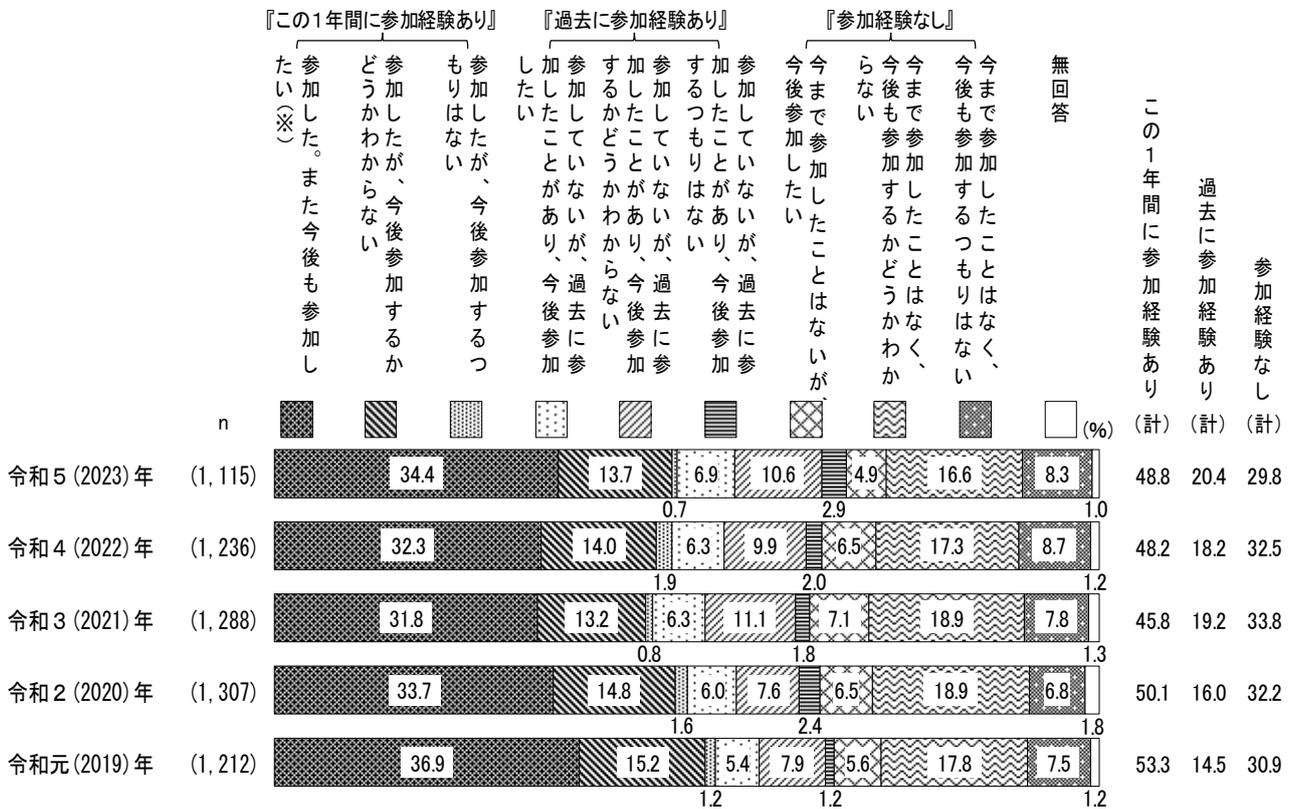


(4) 社会貢献活動について

問10 あなたは、この1年間に社会貢献活動(※)に参加しましたか。また、今後参加したいと思えますか。次の中から1つ選んでください。 [n = 1,115]

※ 社会貢献活動とは、例えば、募金、寄附、プルタブ・エコキャップなどの物品収集、公園清掃などの活動、ボランティアやNPO(非営利活動団体)活動、コミュニティ活動、自治会、育成会などの地域活動などをいいます。

	令和4年	令和5年
・ 参加した。また今後も参加したい	32.3%	34.4%
・ 参加したが、今後参加するかどうかわからない	14.0%	13.7%
・ 参加したが、今後参加するつもりはない	1.9%	0.7%
・ 参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加したい	6.3%	6.9%
・ 参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するかどうかわからない	9.9%	10.6%
・ 参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するつもりはない	2.0%	2.9%
・ 今まで参加したことはないが、今後参加したい	6.5%	4.9%
・ 今まで参加したことはなく、今後参加するかどうかわからない	17.3%	16.6%
・ 今まで参加したことはなく、今後参加するつもりはない	8.7%	8.3%

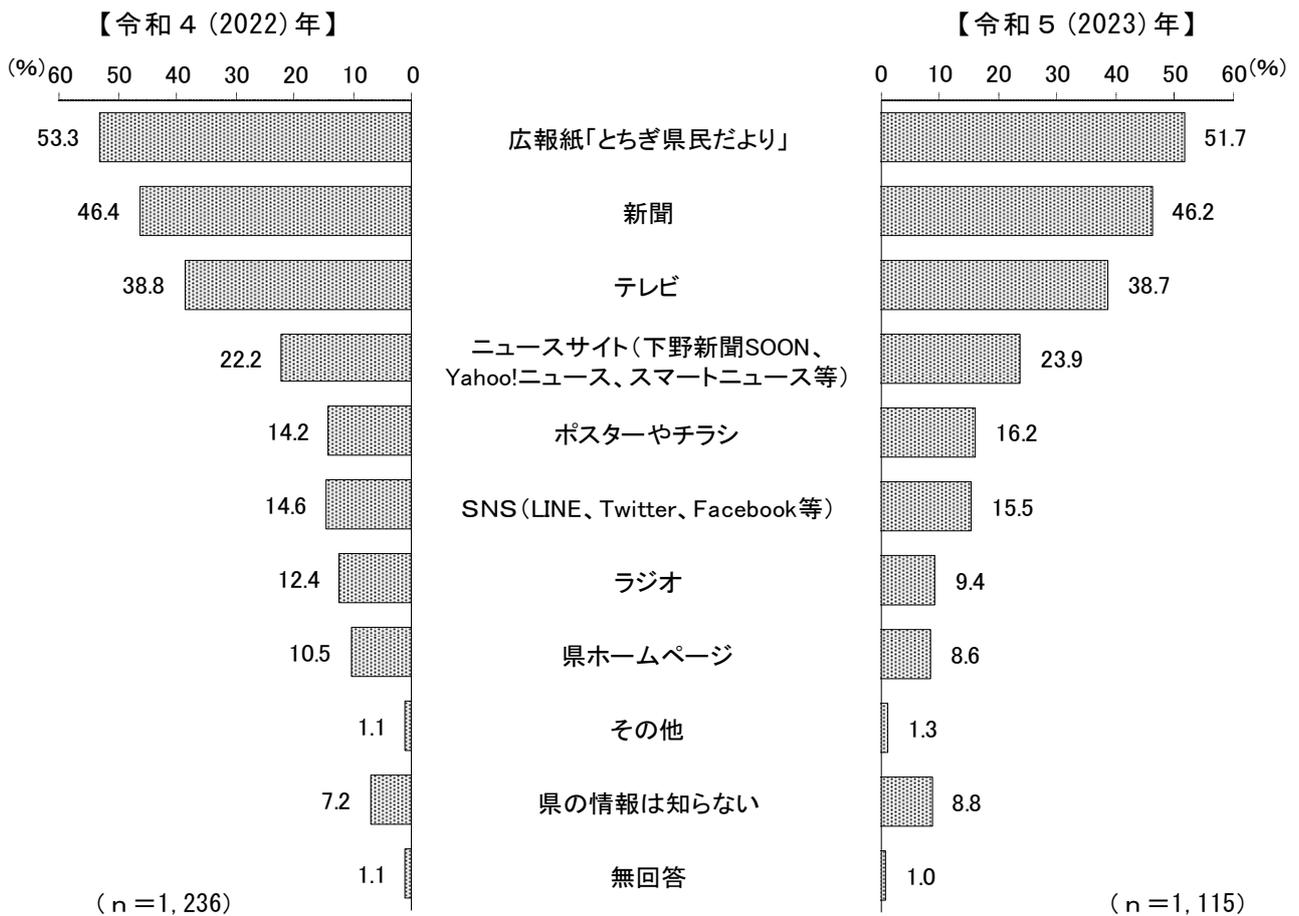


(※) 「参加した。また今後も参加したい」は、令和2(2020)年までは「参加し、今後も参加したい」としていた。

(5) 県の事業や催し、案内などの情報入手手段

問11 あなたは、県の事業や催し、案内などの情報をどのような方法でお知りになりますか。
次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,115]

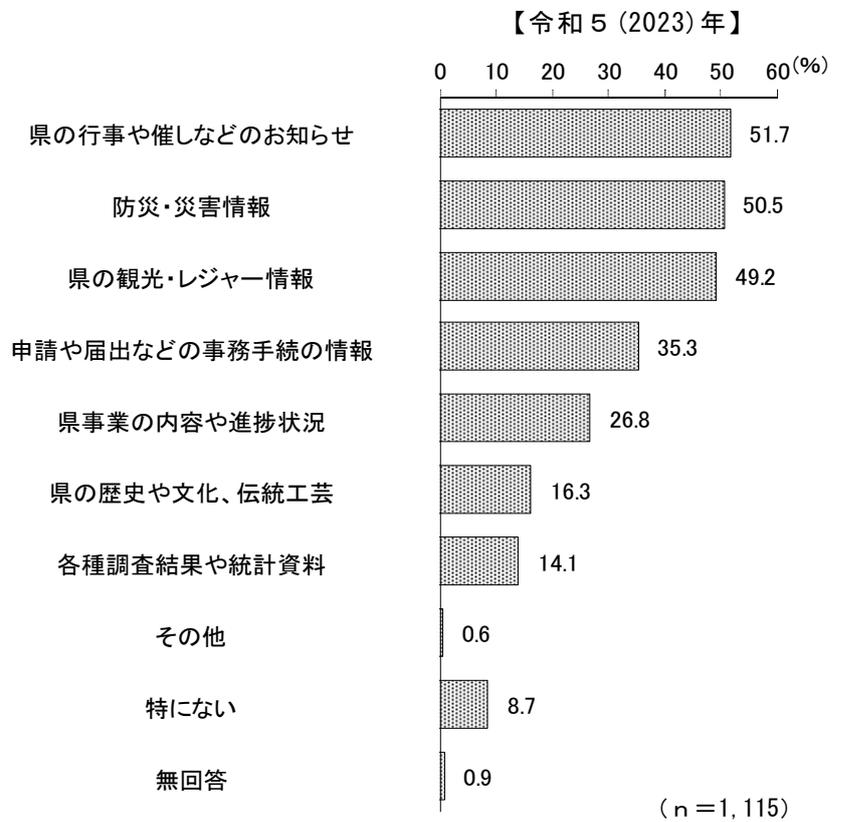
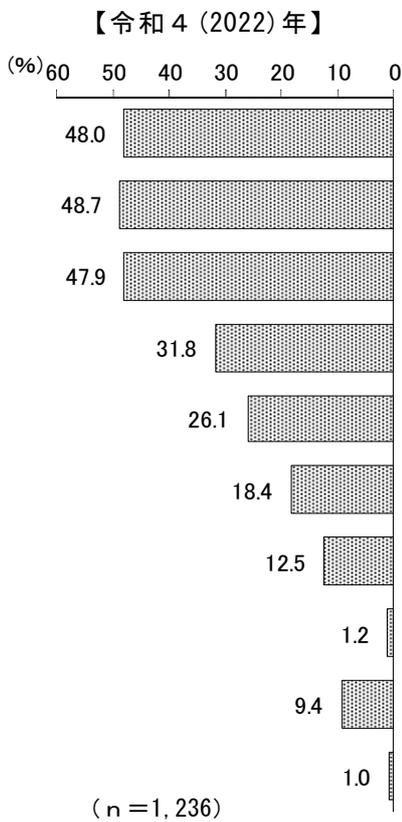
	令和4年	(上位6項目) 令和5年
・ 広報紙「とちぎ県民だより」	53.3%	51.7%
・ 新聞	46.4%	46.2%
・ テレビ	38.8%	38.7%
・ ニュースサイト（下野新聞SOON、Yahoo!ニュース、スマートニュース等）	22.2%	23.9%
・ ポスターやチラシ	14.2%	16.2%
・ SNS（LINE、Twitter、Facebook等）	14.6%	15.5%



(6) 知りたい県政情報

問12 あなたは、県のどのような情報を知りたいですか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,115]

	(上位5項目)	
	令和4年	令和5年
・ 県の行事や催しなどのお知らせ	48.0%	51.7%
・ 防災・災害情報	48.7%	50.5%
・ 県の観光・レジャー情報	47.9%	49.2%
・ 申請や届出などの事務手続の情報	31.8%	35.3%
・ 県事業の内容や進捗状況	26.1%	26.8%

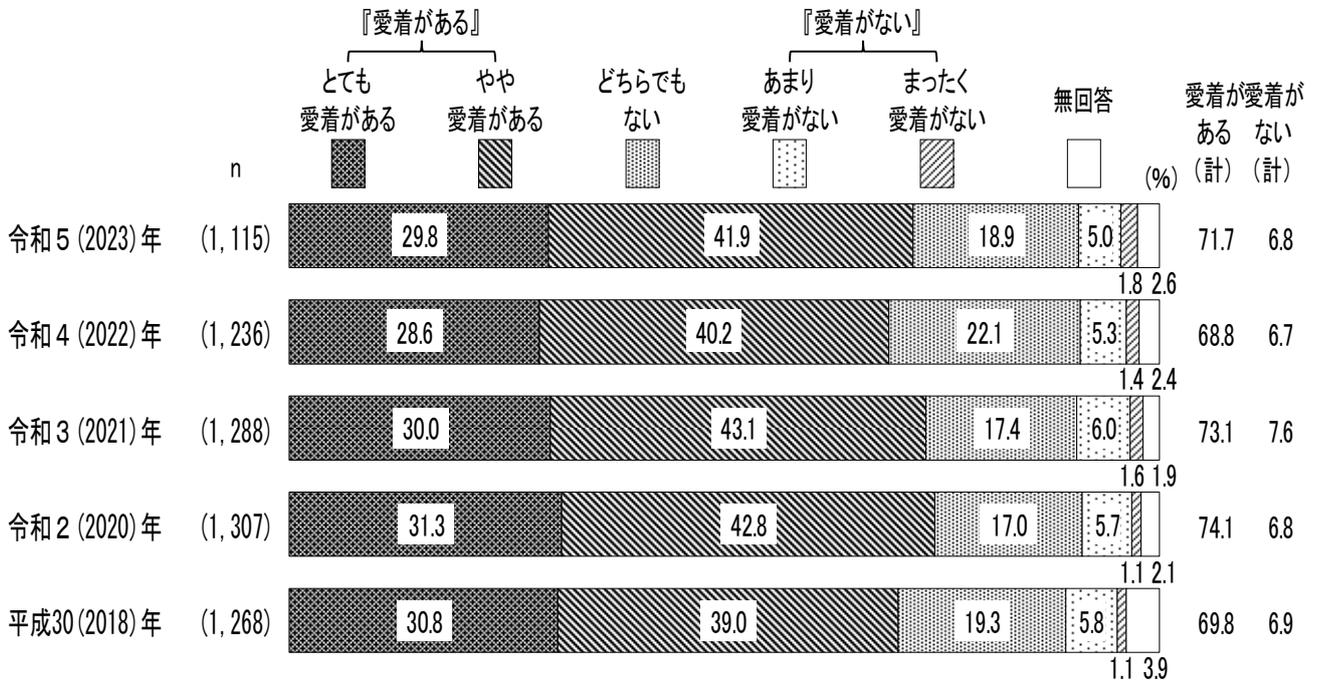


4 栃木県への愛着と誇りについて

(1) 栃木県に対する愛着

問13 あなたは、「栃木県」に対してどの程度愛着を感じていますか。次の中から1つ選んでください。 [n = 1,115]

	令和4年	令和5年
・ とても愛着がある	28.6%	29.8%
・ やや愛着がある	40.2%	41.9%
・ どちらでもない	22.1%	18.9%
・ あまり愛着がない	5.3%	5.0%
・ まったく愛着がない	1.4%	1.8%



(2) 栃木県に愛着を感じる理由

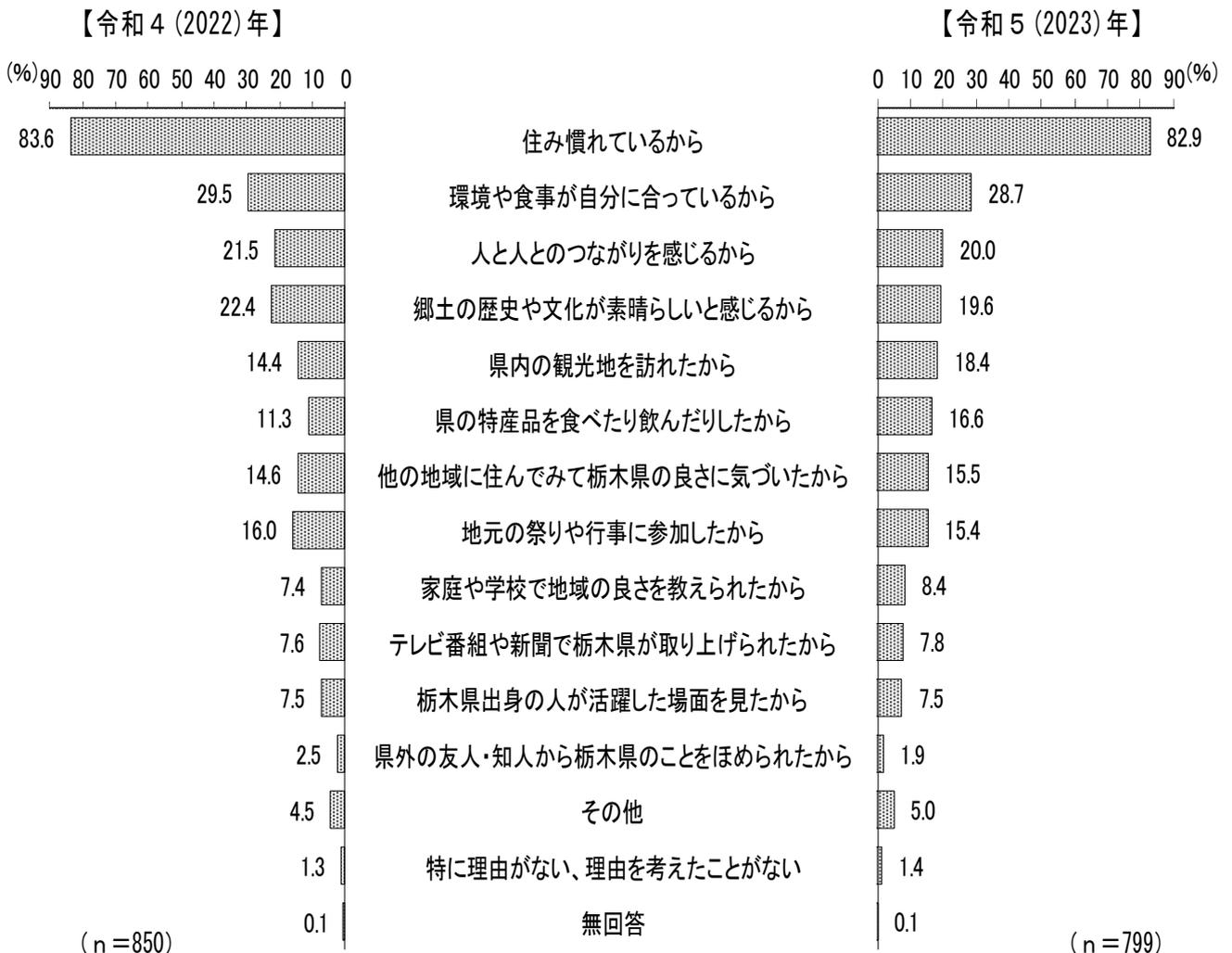
(問13で選択肢「とても愛着がある」、「やや愛着がある」を選んだ方のみお答えください)

問14 あなたが愛着を感じる理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

[n = 799]

	令和4年	令和5年
・ 住み慣れているから	83.6%	82.9%
・ 環境や食事が自分に合っているから	29.5%	28.7%
・ 人と人とのつながりを感じるから	21.5%	20.0%
・ 郷土の歴史や文化が素晴らしいと感じるから	22.4%	19.6%
・ 県内の観光地を訪れたから	14.4%	18.4%

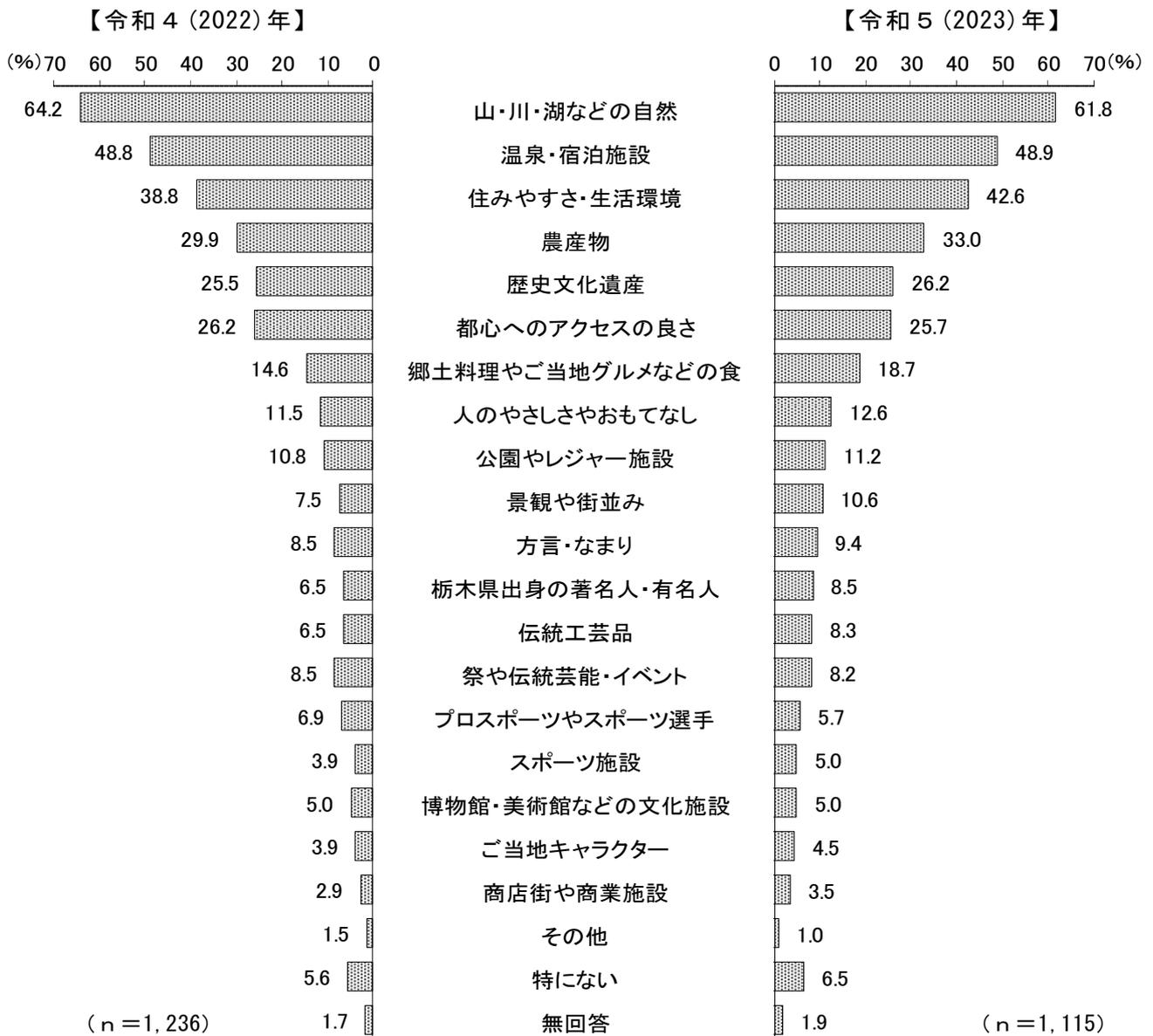
(上位5項目)



(3) 栃木県の魅力あるものとして自慢できるもの

問15 あなたが栃木県の魅力として自慢できるものは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。
[n=1,115]

	令和4年	令和5年
・ 山・川・湖などの自然	64.2%	61.8%
・ 温泉・宿泊施設	48.8%	48.9%
・ 住みやすさ・生活環境	38.8%	42.6%
・ 農産物	29.9%	33.0%
・ 歴史文化遺産	25.5%	26.2%
・ 都心へのアクセスの良さ	26.2%	25.7%
・ 郷土料理やご当地グルメなどの食	14.6%	18.7%

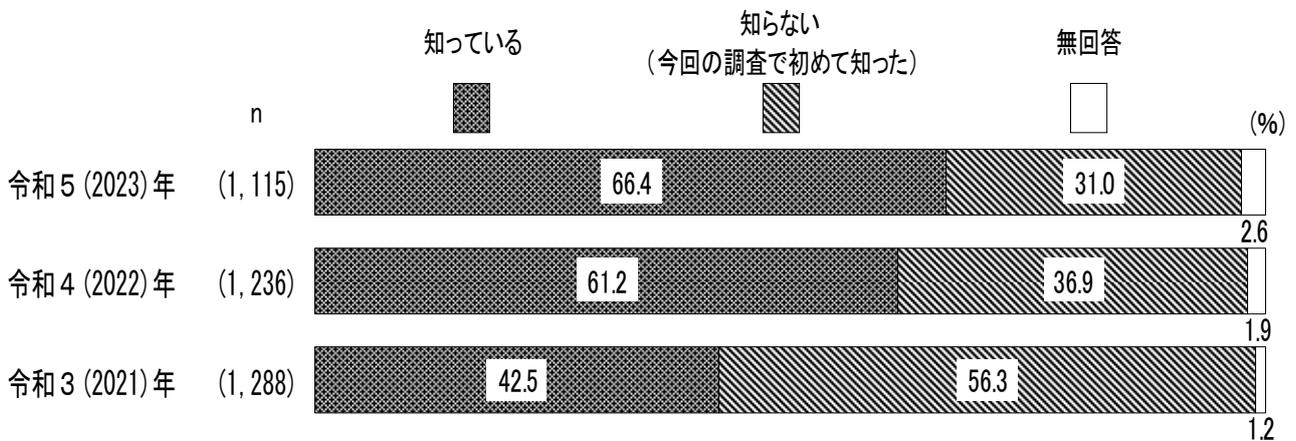


5 SDGsについて

(1) SDGsの認知度

問16 あなたは、SDGs(エスディージーズ)という言葉を知っていますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,115]

	令和4年	⇒	令和5年
・ 知っている	61.2%		66.4%
・ 知らない(今回の調査で初めて知った)	36.9%		31.0%

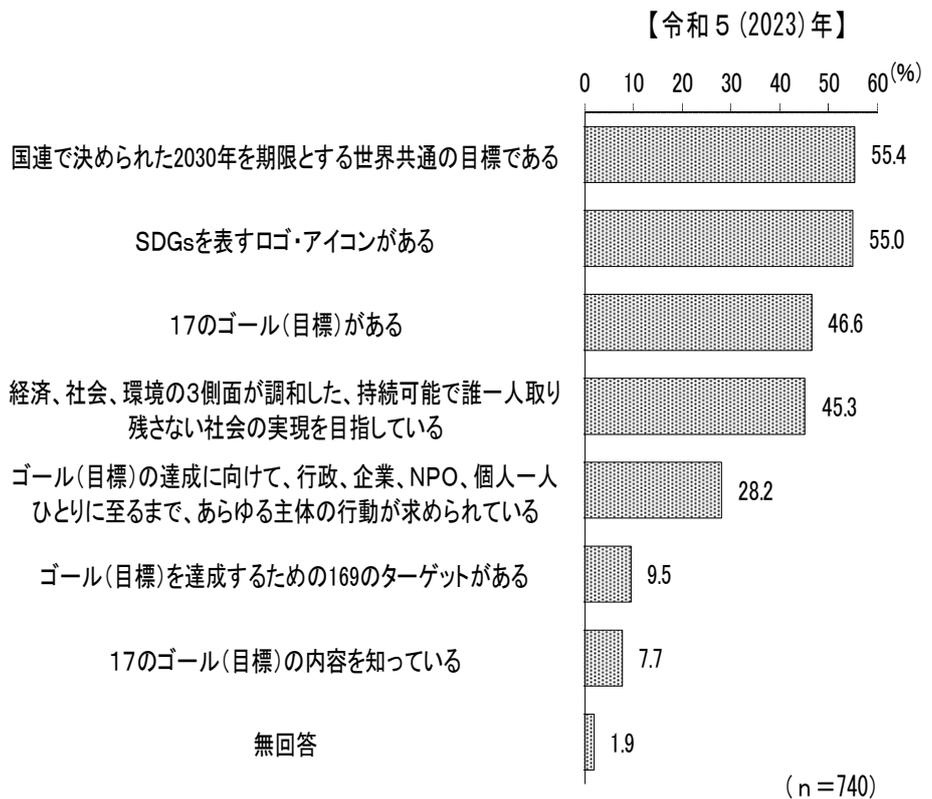
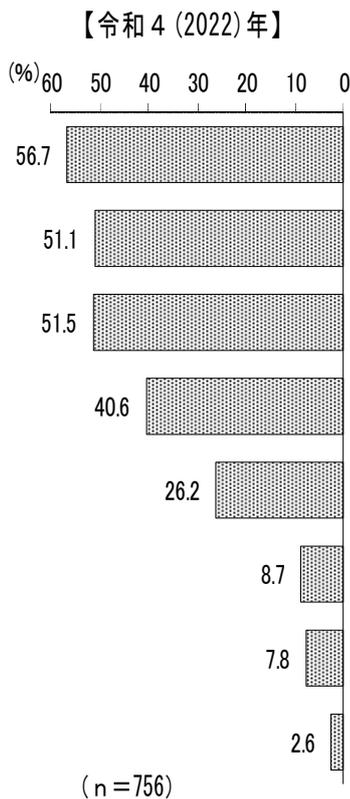


(2) SDGsのどのようなことを知っているか

(問16で選択肢「知っている」を選んだ方のみお答えください)

問17 SDGs(エスディーゼーズ)について、どのようなことを知っていますか。次の中からいくつかでも選んでください。 [n=740]

	(上位4項目)	
	令和4年	令和5年
・ 国連で決められた2030年を期限とする世界共通の目標である	56.7%	55.4%
・ SDGsを表すロゴ・アイコンがある	51.1%	55.0%
・ 17のゴール(目標)がある	51.5%	46.6%
・ 経済、社会、環境の3側面が調和した、持続可能で誰一人取り残さない社会の実現を目指している	40.6%	45.3%



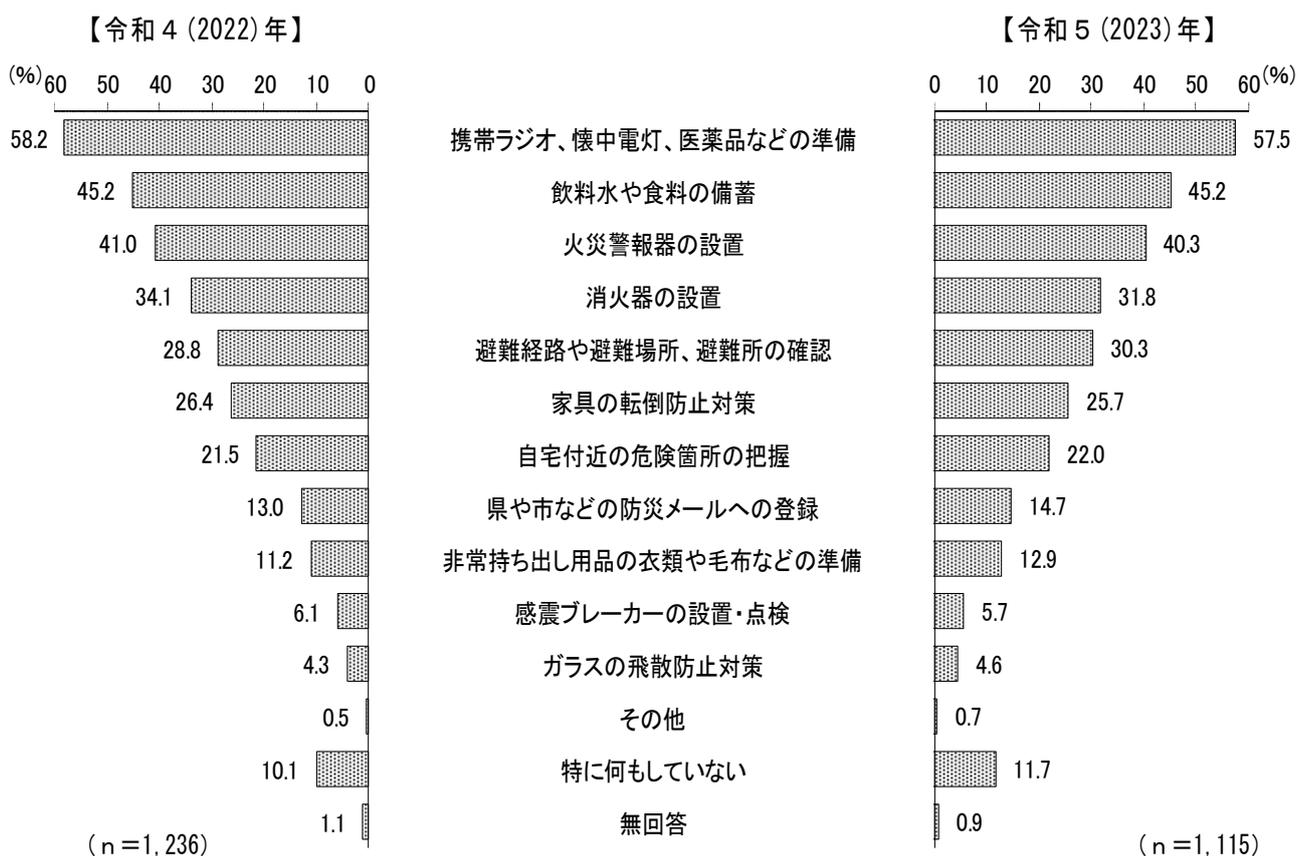
6 地域防災について

(1) 災害に対する備え

問18 あなたの家庭では、災害に対してどのような備えをしていますか。次の中からいくつでも選んでください。 [n = 1, 115]

(上位7項目)

	令和4年	令和5年
・ 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの準備	58.2%	57.5%
・ 飲料水や食料の備蓄	45.2%	45.2%
・ 火災警報器の設置	41.0%	40.3%
・ 消火器の設置	34.1%	31.8%
・ 避難経路や避難場所、避難所の確認	28.8%	30.3%
・ 家具の転倒防止対策	26.4%	25.7%
・ 自宅付近の危険箇所の把握	21.5%	22.0%

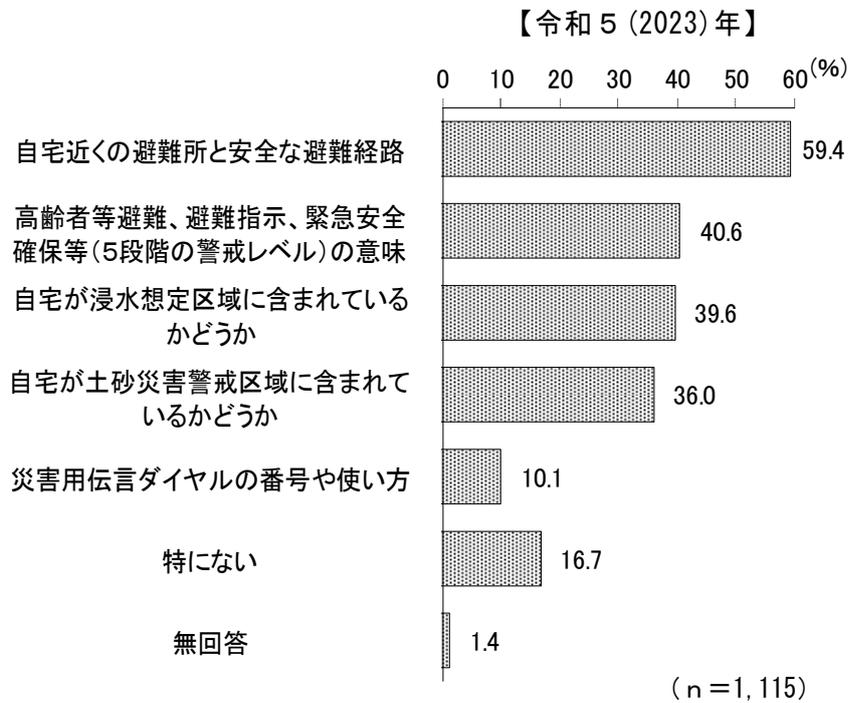
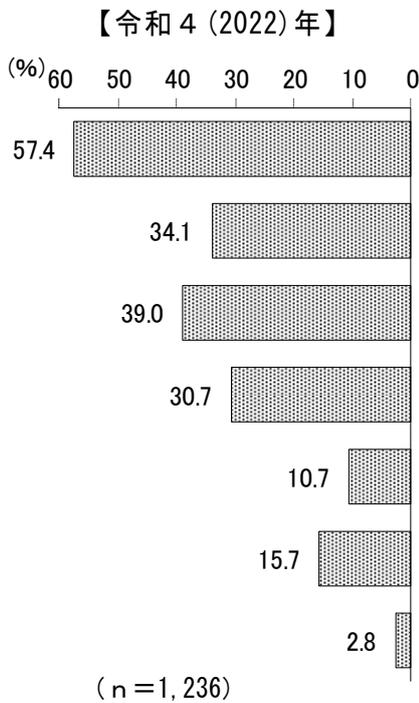


※ 感震ブレーカーとは、地震の揺れをセンサーが感知し、あらかじめ設定しておいた震度以上の場合に電力の供給を遮断する器具をいいます。

(2) 災害の際に必要な情報について知っていること

問19 あなたは、災害の際に必要な情報について、どのようなことを知っていますか。
次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,115]

	令和4年	令和5年
・ 高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保等 （5段階の警戒レベル）の意味	34.1%	40.6%
・ 自宅近くの避難所と安全な避難経路	57.4%	59.4%
・ 自宅が土砂災害警戒区域に含まれているかどうか	30.7%	36.0%
・ 自宅が浸水想定区域に含まれているかどうか	39.0%	39.6%
・ 災害用伝言ダイヤルの番号や使い方	10.7%	10.1%
・ 特にない	15.7%	16.7%

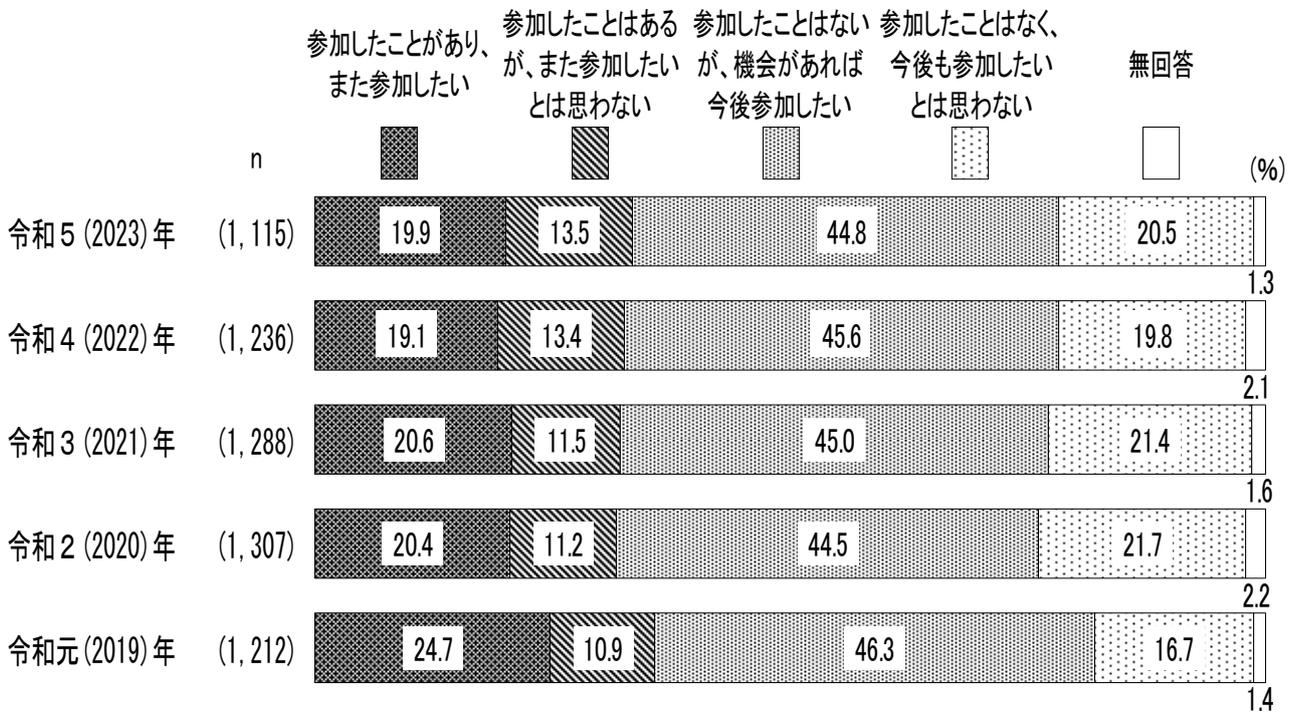


(3) 防災訓練の参加状況

問20 あなたは、県や市町、自治会、企業などが行っている防災訓練に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

[n = 1,115]

	令和4年	令和5年
・ 参加したことがあります、また参加したい	19.1%	19.9%
・ 参加したことはあるが、また参加したいとは思わない	13.4%	13.5%
・ 参加したことはないが、機会があれば今後参加したい	45.6%	44.8%
・ 参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない	19.8%	20.5%

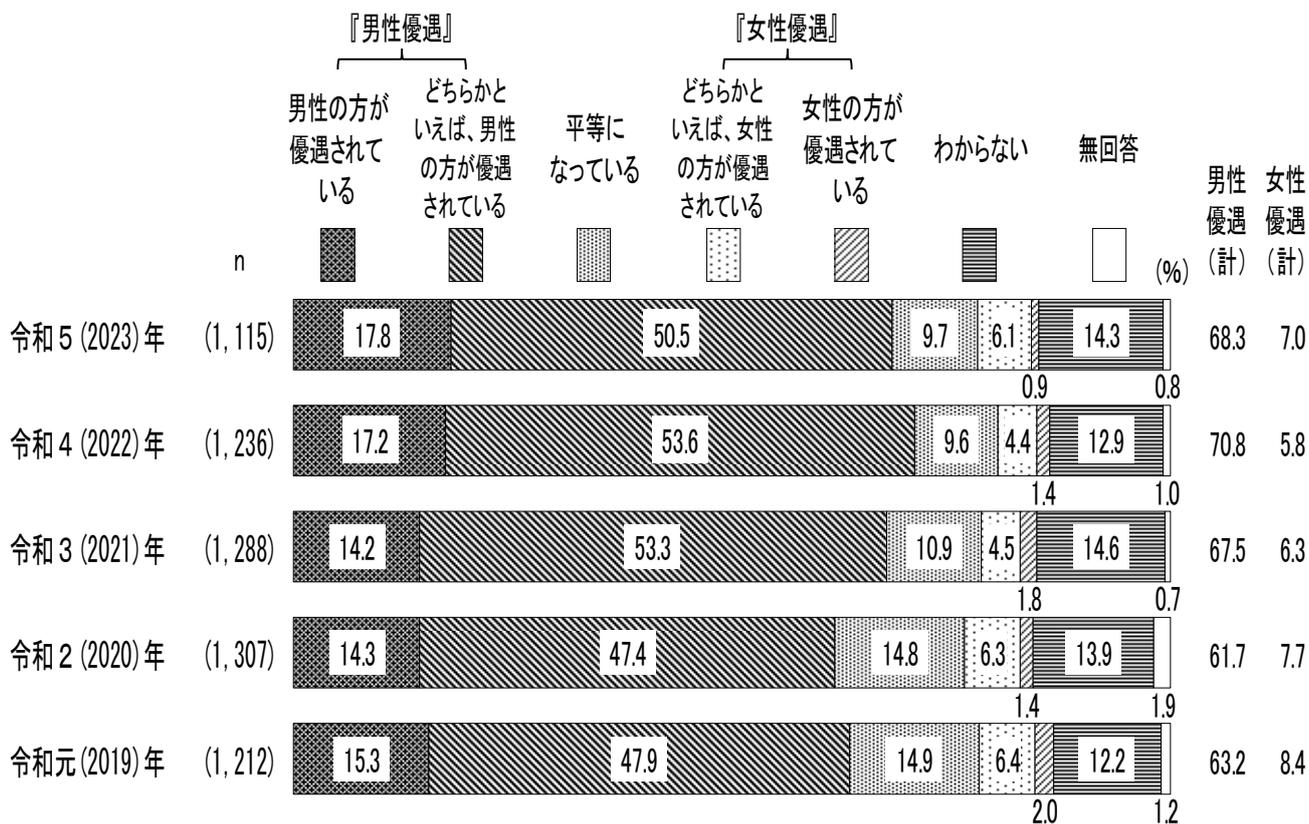


7 男女平等意識について

(1) 社会全体の中での男女の地位の平等感

問21 あなたは、現在、社会全体の中で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,115]

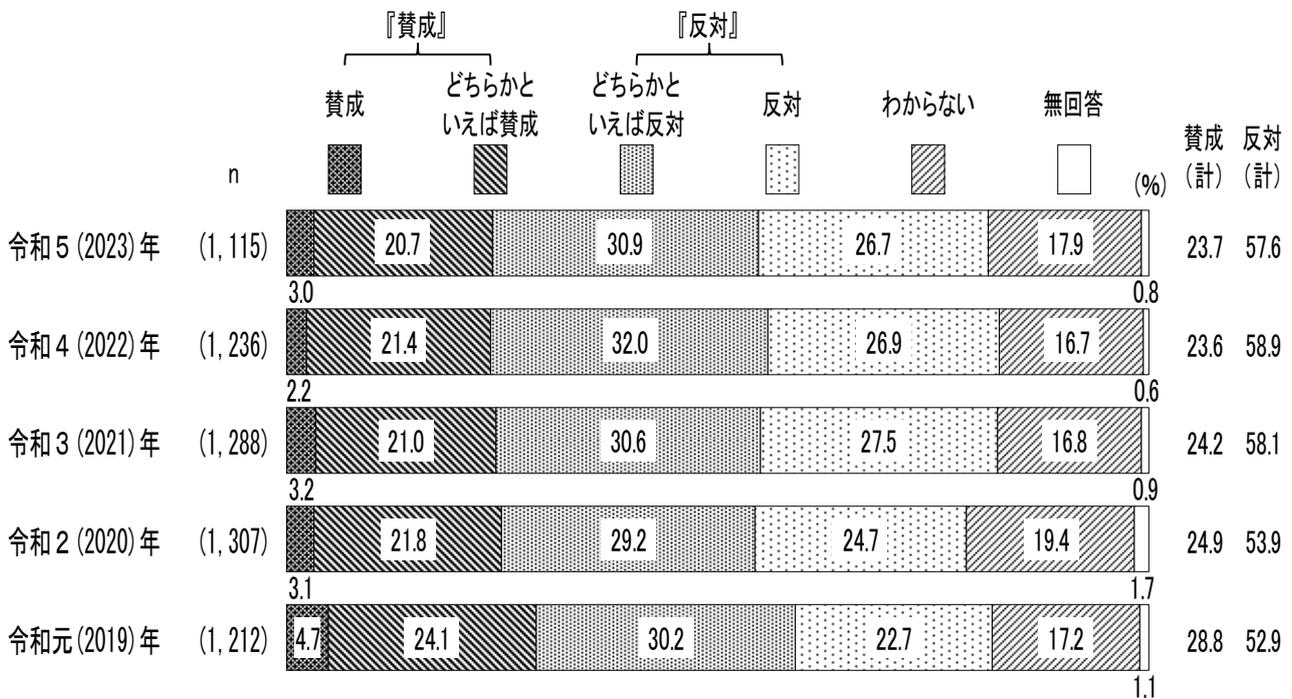
	令和4年	令和5年
・ 男性の方が優遇されている	17.2%	17.8%
・ どちらかといえば、男性の方が優遇されている	53.6%	50.5%
・ 平等になっている	9.6%	9.7%
・ どちらかといえば、女性の方が優遇されている	4.4%	6.1%
・ 女性の方が優遇されている	1.4%	0.9%
・ わからない	12.9%	14.3%



(2) 固定的な性別役割分担意識

問22 あなたは、「男は外で働き、女は家庭を守るべき」との考え方について、どのように思いますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,115]

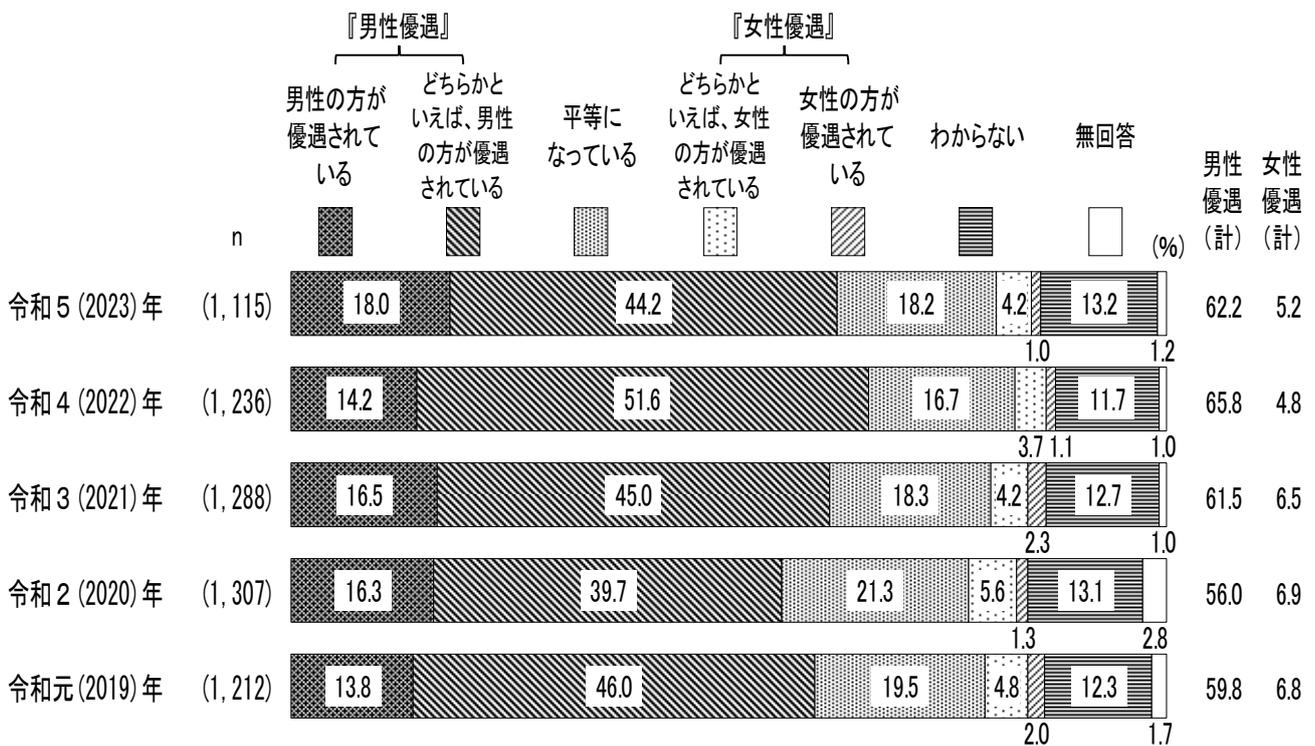
	令和4年	⇒	令和5年
・ 賛成	2.2%		3.0%
・ どちらかといえば賛成	21.4%		20.7%
・ どちらかといえば反対	32.0%		30.9%
・ 反対	26.9%		26.7%
・ わからない	16.7%		17.9%



(3) 働く場での男女の地位の平等感

問23 あなたは、現在、働く場において、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。(現在働いていない方も、イメージでお答えください。)
[n=1,115]

	令和4年	令和5年
・ 男性の方が優遇されている	14.2%	18.0%
・ どちらかといえば、男性の方が優遇されている	51.6%	44.2%
・ 平等になっている	16.7%	18.2%
・ どちらかといえば、女性の方が優遇されている	3.7%	4.2%
・ 女性の方が優遇されている	1.1%	1.0%
・ わからない	11.7%	13.2%

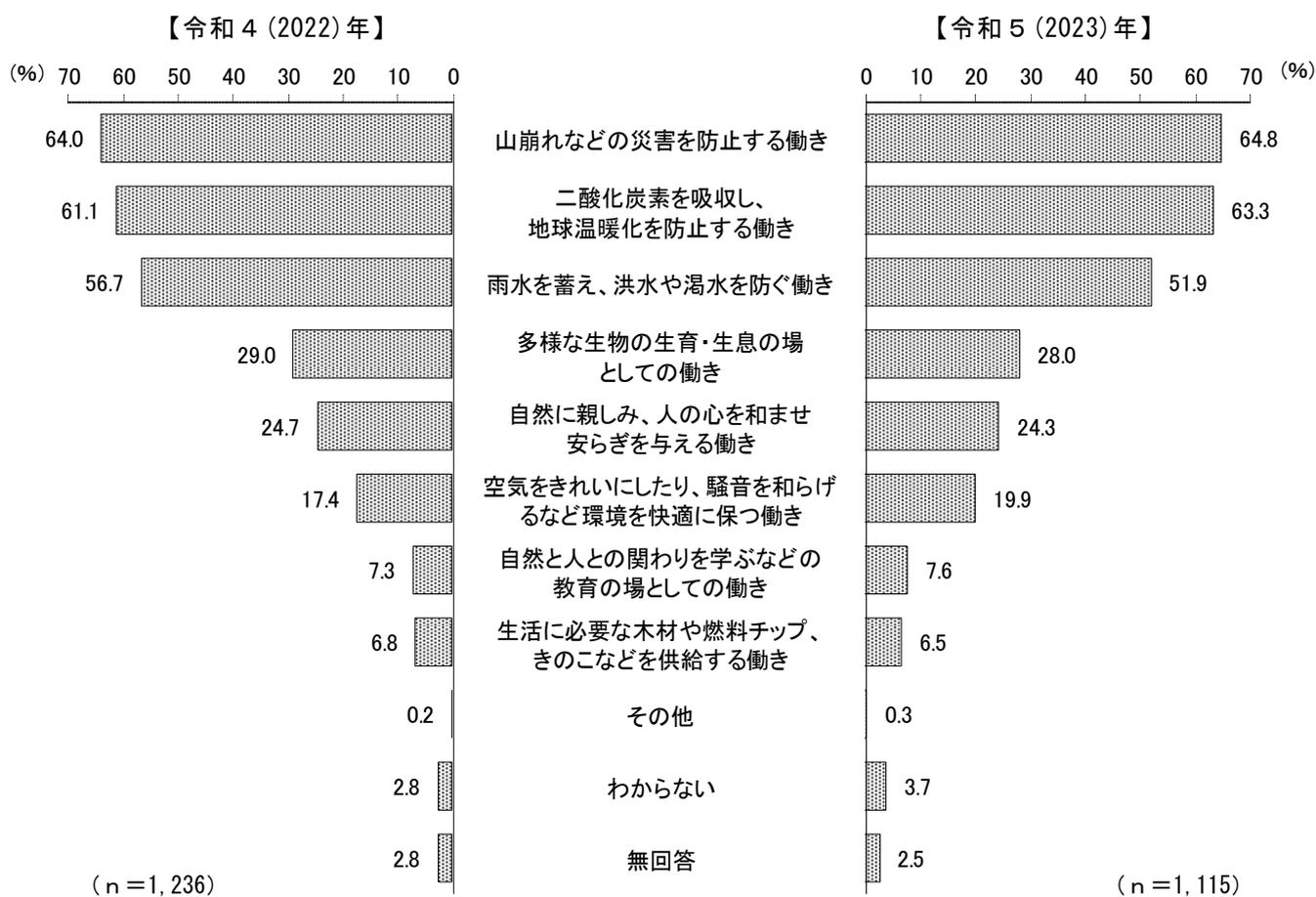


8 とちぎの元気な森づくり県民税について

(1) 重要と考える森林の働き

問24 森林には、様々な働きがあります。あなたが特に重要だと考える森林の働きはどれですか。次の中から3つまで選んでください。 [n = 1, 115]

	令和4年		令和5年
1 山崩れなどの災害を防止する働き	64.0%		64.8%
3 二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止する働き	61.1%	⇒	63.3%
2 雨水を蓄え、洪水や渇水を防ぐ働き	56.7%		51.9%

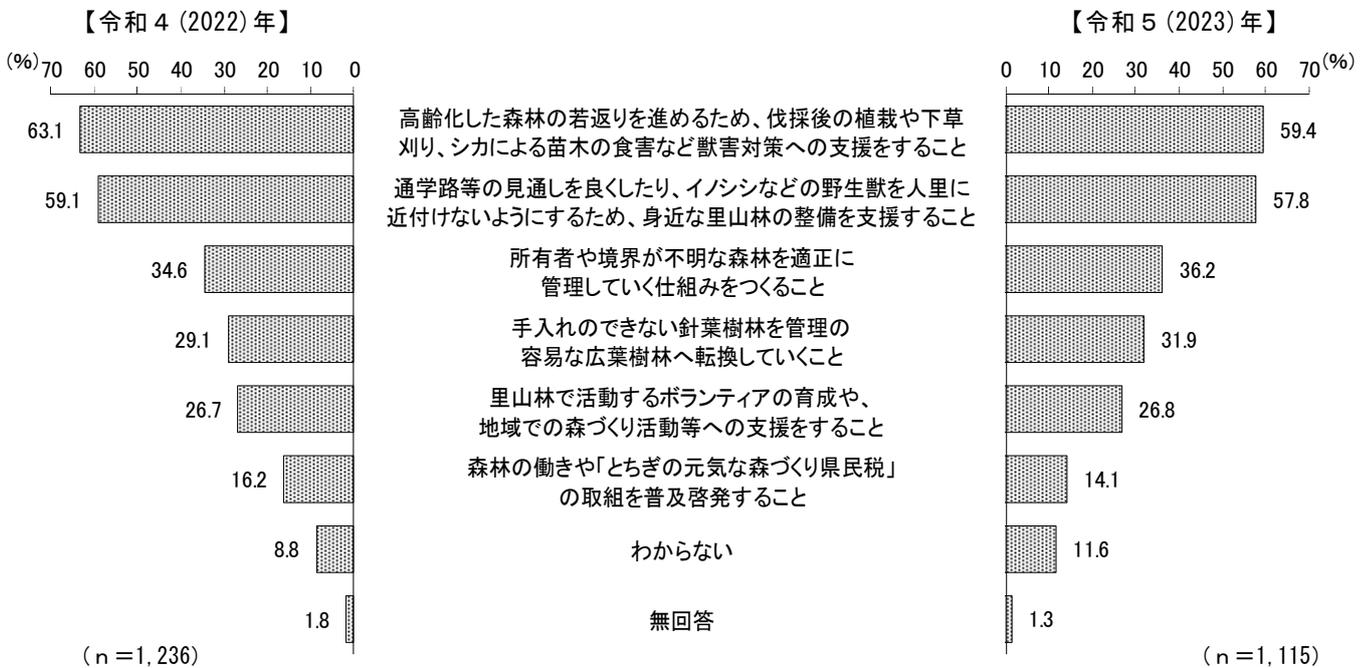


(2) 「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組の中で重要なもの

問25 栃木県では、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用して、本県の森林を元気な姿で将来へ引き継いでいくための様々な取組を行っています。

「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組の中で、あなたが特に重要と思うものはどれですか。次の中から3つまで選んでください。 [n=1,115]

	令和4年	令和5年
・ 高齢化した森林の若返りを進めるため、伐採後の植栽や下草刈り、シカによる苗木の食害など獣害対策への支援をすること	63.1%	59.4%
・ 通学路等の見通しを良くしたり、イノシシなどの野生獣を人里に近付けないようにするため、身近な里山林の整備を支援すること	59.1%	57.8%
・ 所有者や境界が不明な森林を適正に管理していく仕組みをつくること	34.6%	36.2%
・ 手入れのできない針葉樹林を管理の容易な広葉樹林へ転換していくこと	29.1%	31.9%
・ 里山林で活動するボランティアの育成や、地域での森づくり活動等への支援をすること	26.7%	26.8%



注) 選択肢変更

(R4) 高齢化した森林の若返りを進めるため、皆伐後の植栽や下草刈り、獣害対策などへの支援をすること

↓

(R5) 高齢化した森林の若返りを進めるため、伐採後の植栽や下草刈り、シカによる苗木の食害など獣害対策への支援をすること

(R4) 通学路等の見通しを良くしたり、野生獣を人里に近付けないようにするため、身近な里山林の整備を支援すること

↓

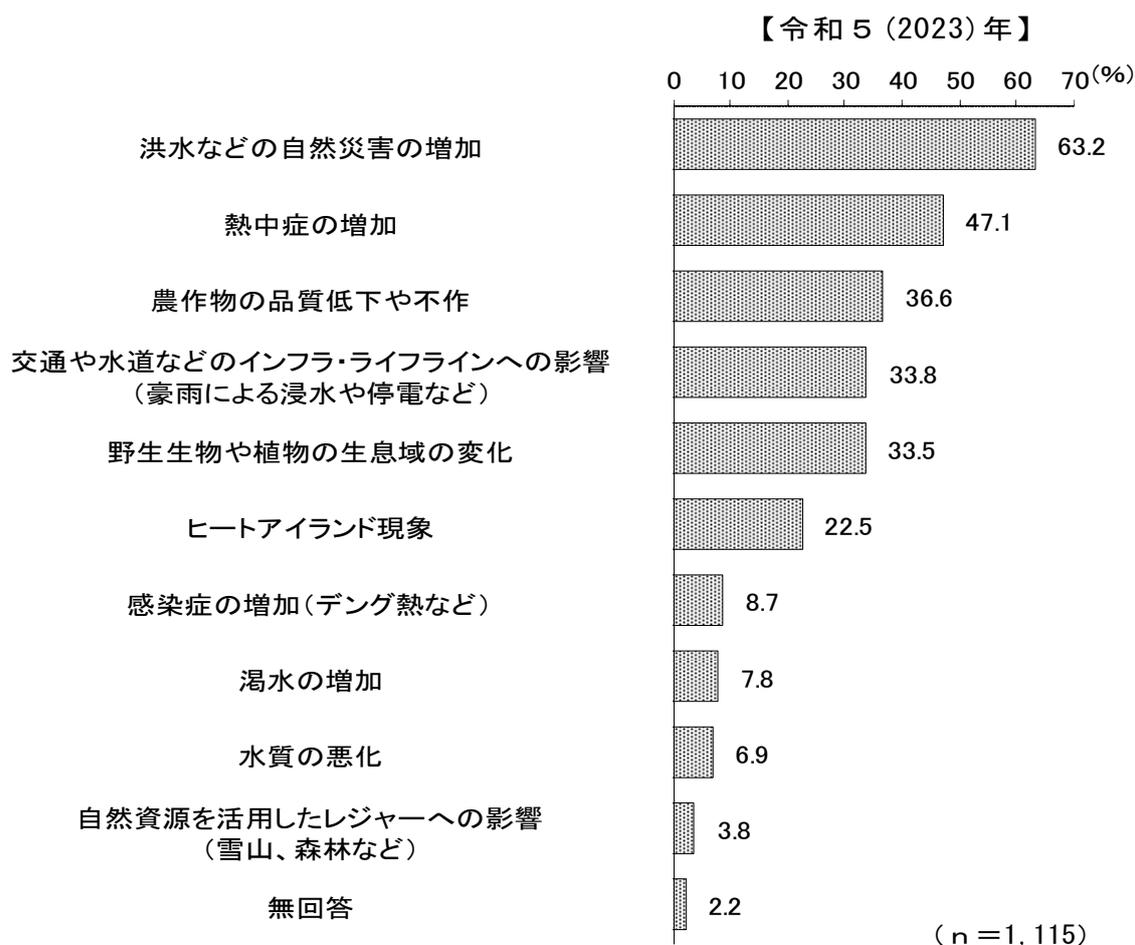
(R5) 通学路等の見通しを良くしたり、イノシシなどの野生獣を人里に近付けないようにするため、身近な里山林の整備を支援すること

9 気候変動対策について

(1) 気候変動による影響について知っていること

問26 近年、地球温暖化による気候変動の影響と思われる事象などが、栃木県でも発生しています。あなたが強く感じている気候変動による影響は何ですか。次の中から3つまで選んでください。 [n=1,115]

	令和5年
・ 洪水などの自然災害の増加	63.2%
・ 熱中症の増加	47.1%
・ 農作物の品質低下や不作	36.6%
・ 交通や水道などのインフラ・ライフラインへの影響 (豪雨による浸水や停電など)	33.8%
・ 野生生物や植物の生息域の変化	33.5%



注) 本調査項目は、令和元(2019)年度調査で「気候変動について」として調査しているが、今回調査では設問内容、回答選択肢を一部変更しているため、調査結果の比較は行っていない。

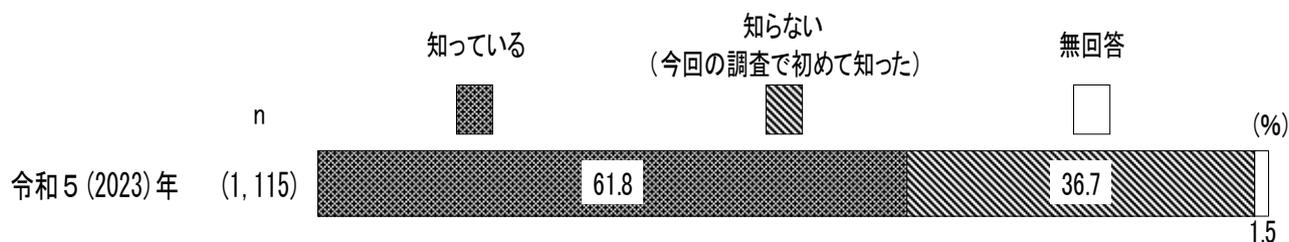
(2) 「カーボンニュートラル」の認知度

問27 気候変動に対処するためには、二酸化炭素などの温室効果ガス排出量削減のための取組（緩和策）を行うことが必要です。あなたは、緩和策の長期的な目標である「カーボンニュートラル」という言葉を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,115]

※ カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、温室効果ガス排出量を実質的にゼロにする考え方で、栃木県では、2050年までのカーボンニュートラル実現を目指し、県や事業者・県民の皆さんのオールとちぎで取り組んでいく行動などを条例に定めています（栃木県カーボンニュートラル実現条例：令和5年4月1日施行）。

- | | |
|----------------------|-------|
| | 令和5年 |
| ・ 知っている | 61.8% |
| ・ 知らない（今回の調査で初めて知った） | 36.7% |



(3) 実際に行っている気候変動対策

問28 あなたが実際に行っている気候変動対策は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,115]

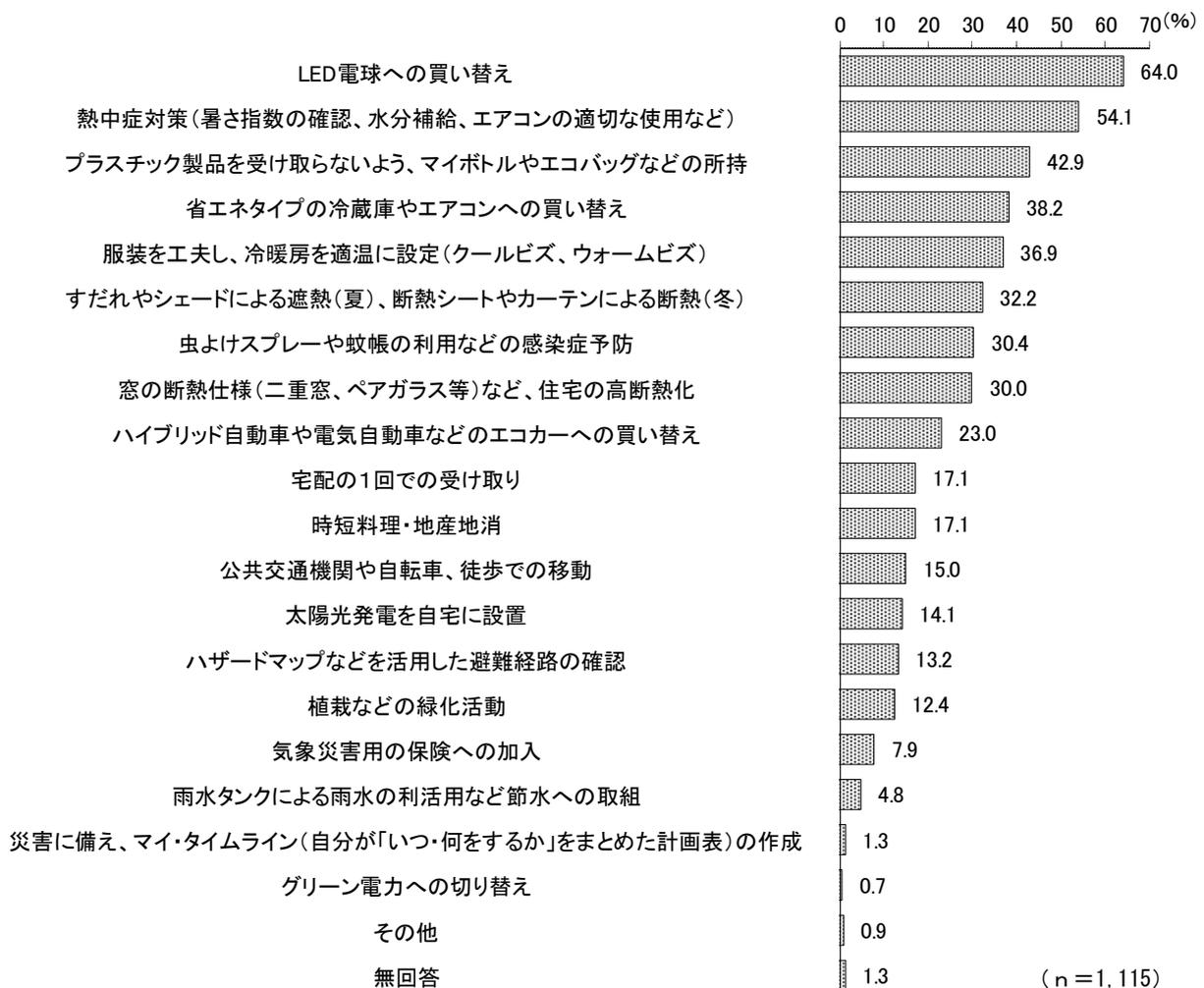
※ 気候変動対策には、温室効果ガスの排出を削減する取組〔緩和策〕や気候変動の影響による被害を回避・軽減する取組〔適応策〕があります。

(上位8項目)

令和5年

- ・ LED電球への買い替え 64.0%
- ・ 熱中症対策（暑さ指数の確認、水分補給、エアコンの適切な使用など） 54.1%
- ・ プラスチック製品を受け取らないよう、マイボトルやエコバッグなどの所持 42.9%
- ・ 省エネタイプの冷蔵庫やエアコンへの買い替え 38.2%
- ・ 服装を工夫し、冷暖房を適温に設定（クールビズ、ウォームビズ） 36.9%
- ・ すだれやシェードによる遮熱（夏）、断熱シートやカーテンによる断熱（冬） 32.2%
- ・ 虫よけスプレーや蚊帳の利用などの感染症予防 30.4%
- ・ 窓の断熱仕様（二重窓、ペアガラス等）など、住宅の高断熱化 30.0%

【令和5（2023）年】

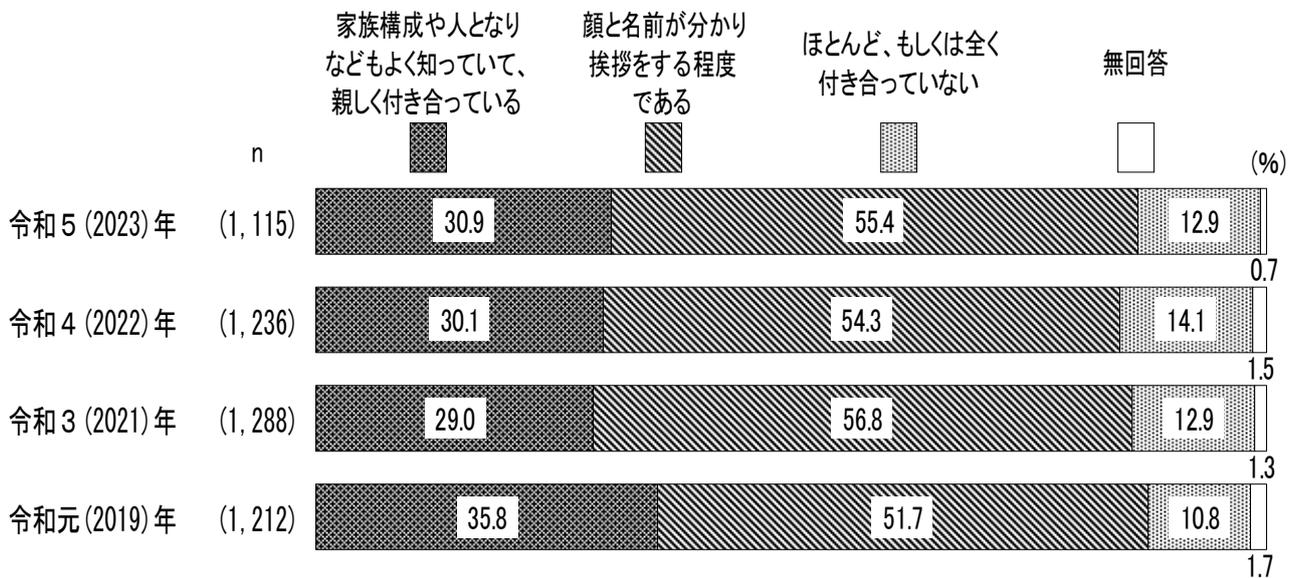


10 地域のつながりについて

(1) 現在のご近所との関係

問29 あなたは現在、ご近所（両隣など）の方とどのような関係ですか。次の中から1つ選んでください。 [n = 1,115]

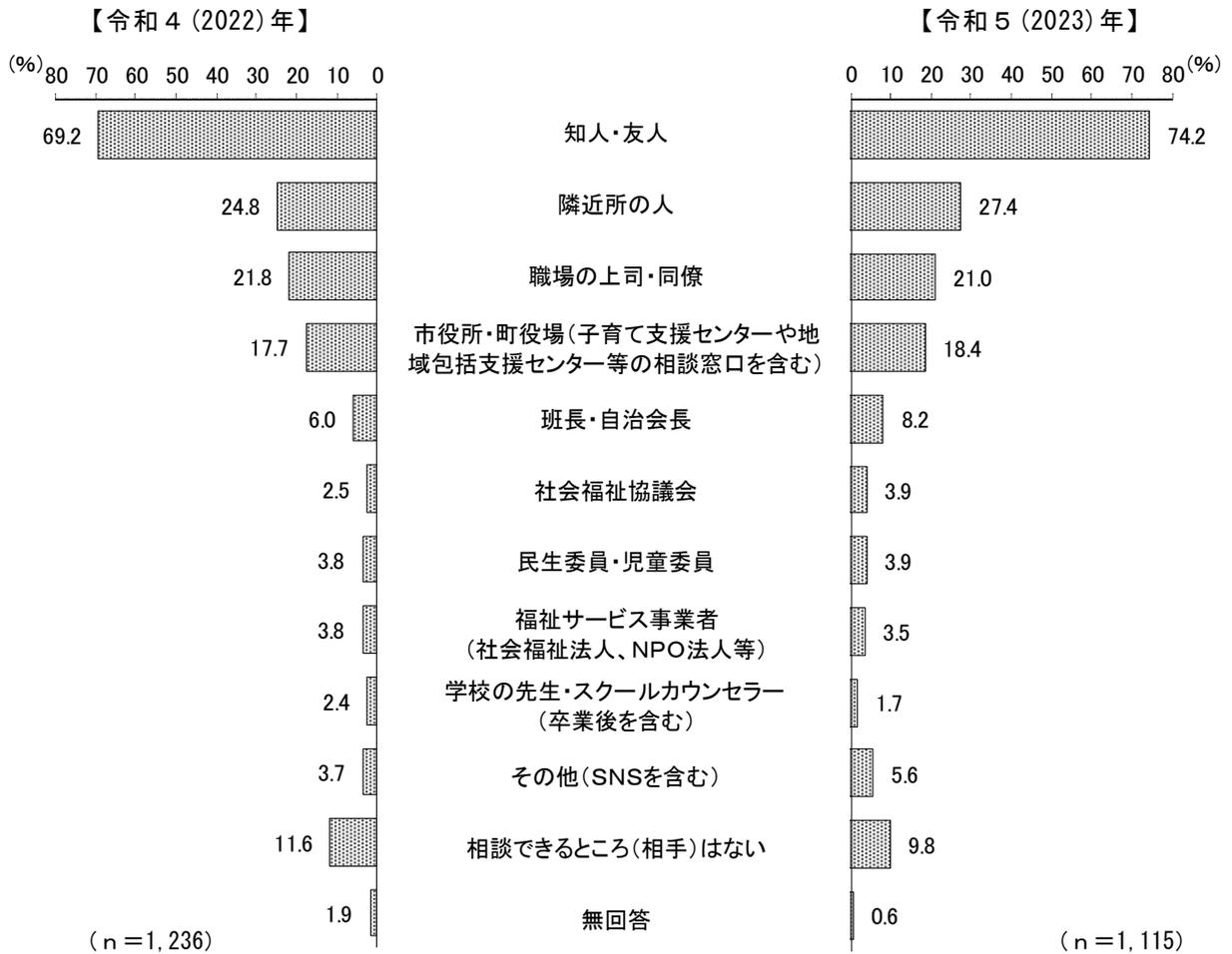
	令和4年	令和5年
・ 家族構成や人となりなどもよく知っていて、親しく付き合っている	30.1%	30.9%
・ 顔と名前が分かり挨拶をする程度である	54.3%	55.4%
・ ほとんど、もしくは全く付き合っていない	14.1%	12.9%



(2) 日常生活で困ったときに相談できるところ

問30 日常生活で困ったときに、家族・親族以外で相談できるところ（相手）はどこ（誰）ですか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,115]

	(上位4項目)	
	令和4年	令和5年
・ 知人・友人	69.2%	74.2%
・ 隣近所の人	24.8%	27.4%
・ 職場の上司・同僚	21.8%	21.0%
・ 市役所・町役場（子育て支援センターや地域包括支援センター等の相談窓口を含む）	17.7%	18.4%

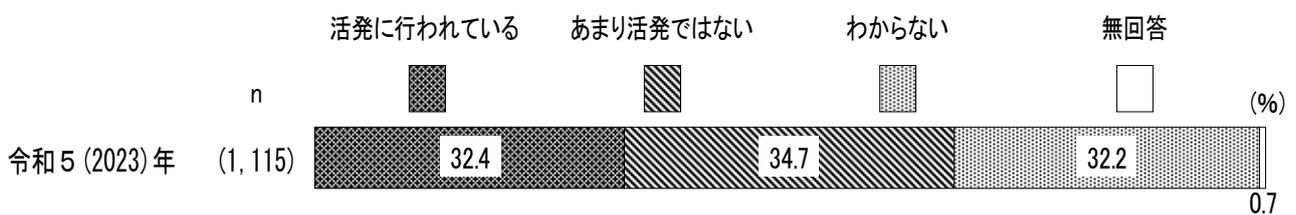


11 地域活動について

(1) 地域活動が活発に行われているか

問31 あなたの住んでいる地域では、地域活動が活発に行われていますか。次の中から1つ選んでください。 [n = 1,115]

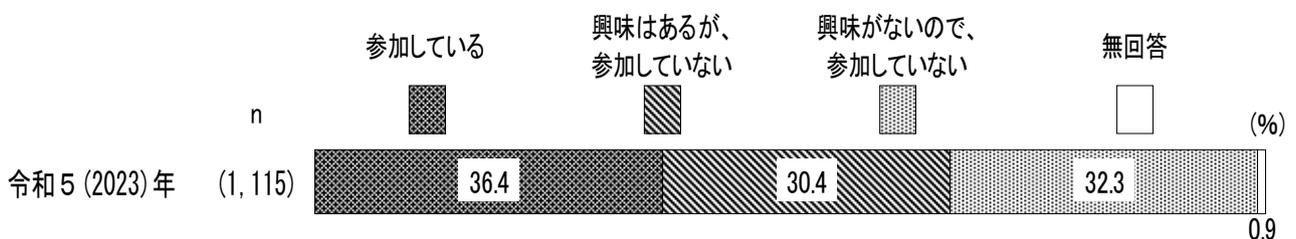
- | | |
|-------------|-------|
| | 令和5年 |
| ・ 活発に行われている | 32.4% |
| ・ あまり活発ではない | 34.7% |
| ・ わからない | 32.2% |



(2) 地域活動への参加状況

問32 あなたは、地域活動に参加していますか。次の中から1つ選んでください。 [n = 1,115]

- | | |
|-------------------|-------|
| | 令和5年 |
| ・ 参加している | 36.4% |
| ・ 興味はあるが、参加していない | 30.4% |
| ・ 興味がないので、参加していない | 32.3% |



注) 本調査項目は、平成23(2011)年度調査で調査しているが、調査間隔が長期に及ぶため、調査結果の比較は行っていない。

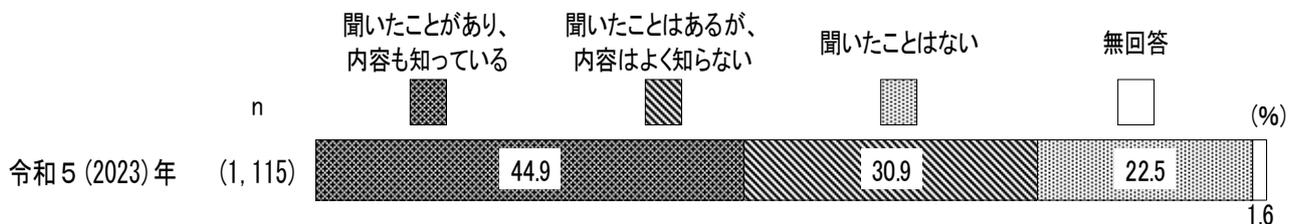
12 ケアラーについて

(1) ケアラーという言葉の認知度

問33 あなたは、「ケアラー」（18歳未満のヤングケアラーを含む。）（※）という言葉を知っていることがありますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,115]

※ 栃木県では、全てのケアラーが個人として尊重され、社会から孤立することなく、安心して生活することができる地域社会の実現に向けて、令和5年4月に栃木県ケアラー支援条例を施行しました。この条例において、「ケアラー」とは、「高齢、障害、疾病等の理由により援助を必要とする家族、身近な人その他の者に対し、無償で介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を提供する」方と定義しており、「ヤングケアラー」とは、このうち18歳未満の方をいいます。

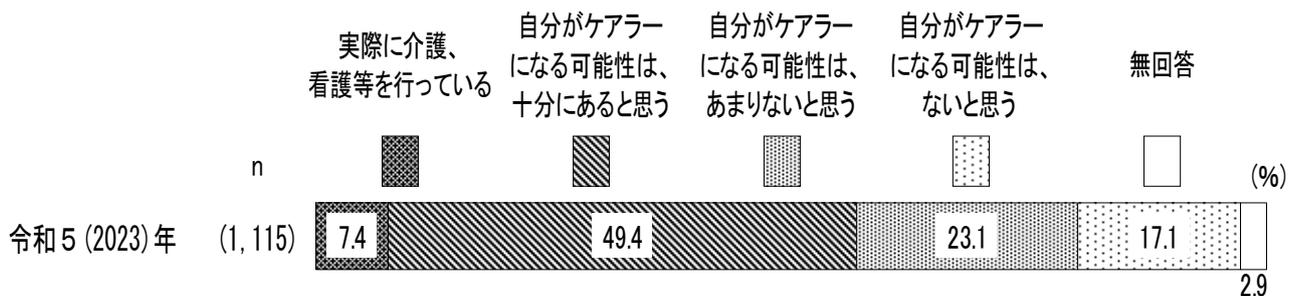
- | | |
|-----------------------|-------|
| | 令和5年 |
| ・ 聞いたことがあります、内容も知っている | 44.9% |
| ・ 聞いたことはあるが、内容はよく知らない | 30.9% |
| ・ 聞いたことはない | 22.5% |



(2) ケアラー当事者になる可能性

問34 今後、あなたがケアラー当事者となる可能性について、どのようにお考えですか。あなたの考えに最も近いものを、次の中から1つ選んでください。 [n=1,115]

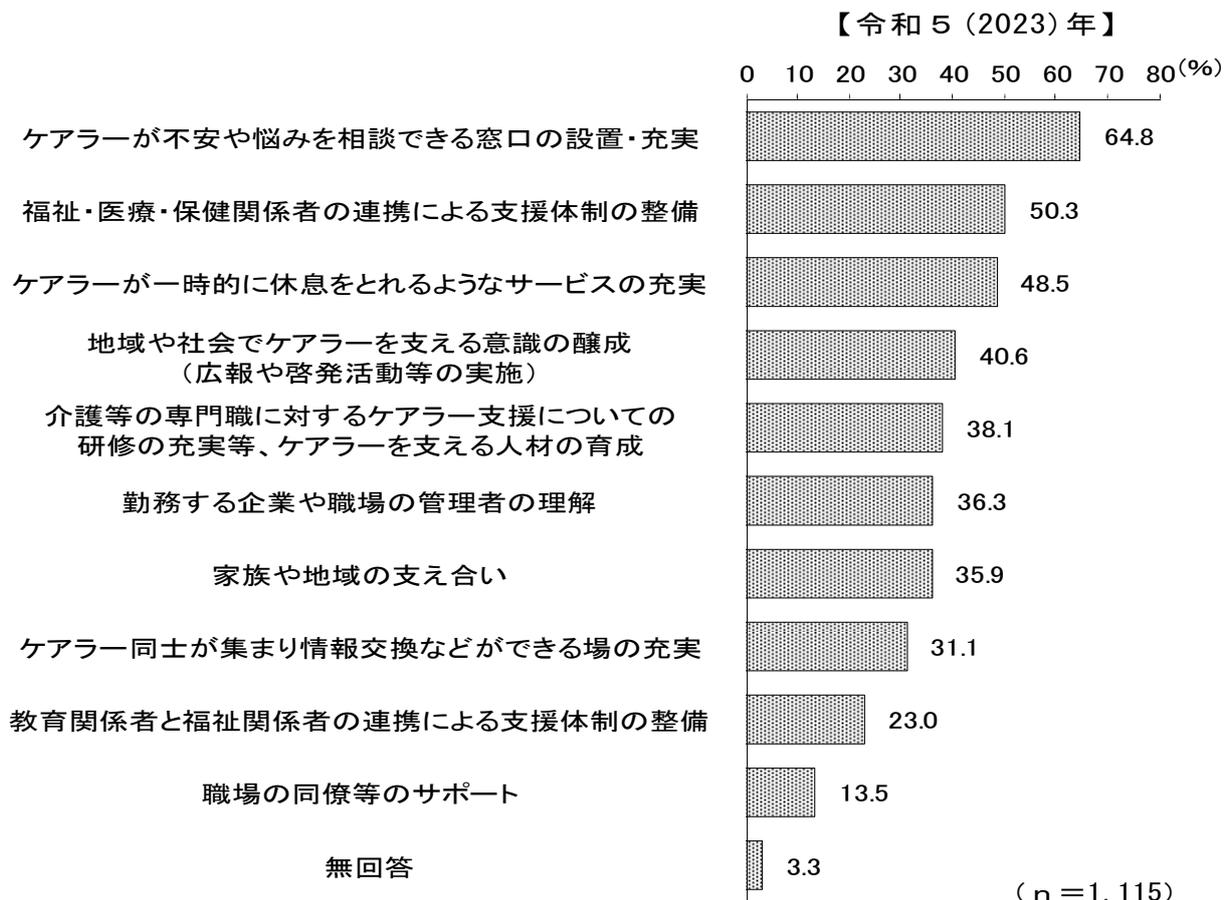
- | | |
|---------------------------|-------|
| | 令和5年 |
| ・ 実際に介護、看護等を行っている | 7.4% |
| ・ 自分がケアラーになる可能性は、十分にあると思う | 49.4% |
| ・ 自分がケアラーになる可能性は、あまりないと思う | 23.1% |
| ・ 自分がケアラーになる可能性は、ないと思う | 17.1% |



(3) ケアラーへの支援策

問35 ケアラーが社会から孤立することなく、安心して生活するために、今後、どのような支援策が必要だと考えますか。次の中からいくつか選んでください。 [n=1,115]

	(上位5項目)
	令和5年
・ ケアラーが不安や悩みを相談できる窓口の設置・充実	64.8%
・ 福祉・医療・保健関係者の連携による支援体制の整備	50.3%
・ ケアラーが一時的に休息をとれるようなサービスの充実	48.5%
・ 地域や社会でケアラーを支える意識の醸成 (広報や啓発活動等の実施)	40.6%
・ 介護等の専門職に対するケアラー支援についての研修 の充実等、ケアラーを支える人材の育成	38.1%

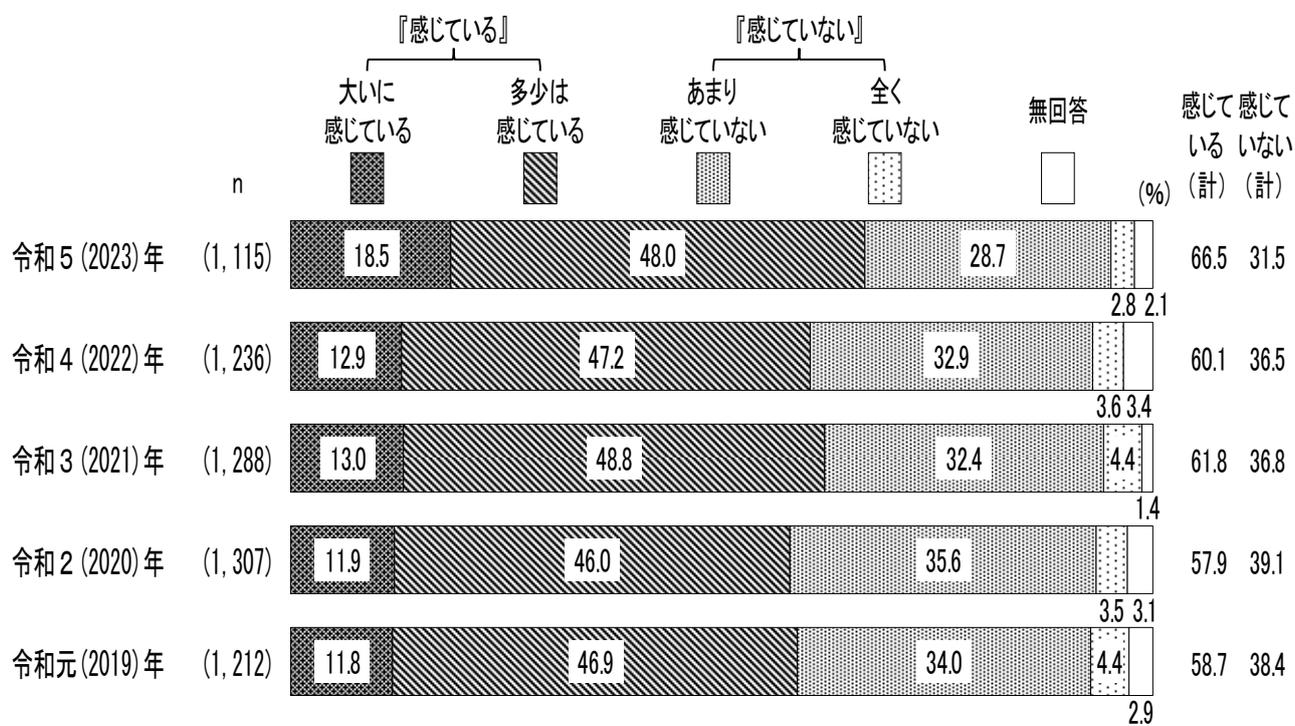


13 食の安全・安心について

(1) 食品の安全性に対する不安

問36 あなたは、食品の安全性について、不安を感じていますか。次の中から1つ選んでください。
[n = 1,115]

	令和4年	令和5年
・ 大いに感じている	12.9%	18.5%
・ 多少は感じている	47.2%	48.0%
・ あまり感じていない	32.9%	28.7%
・ 全く感じていない	3.6%	2.8%



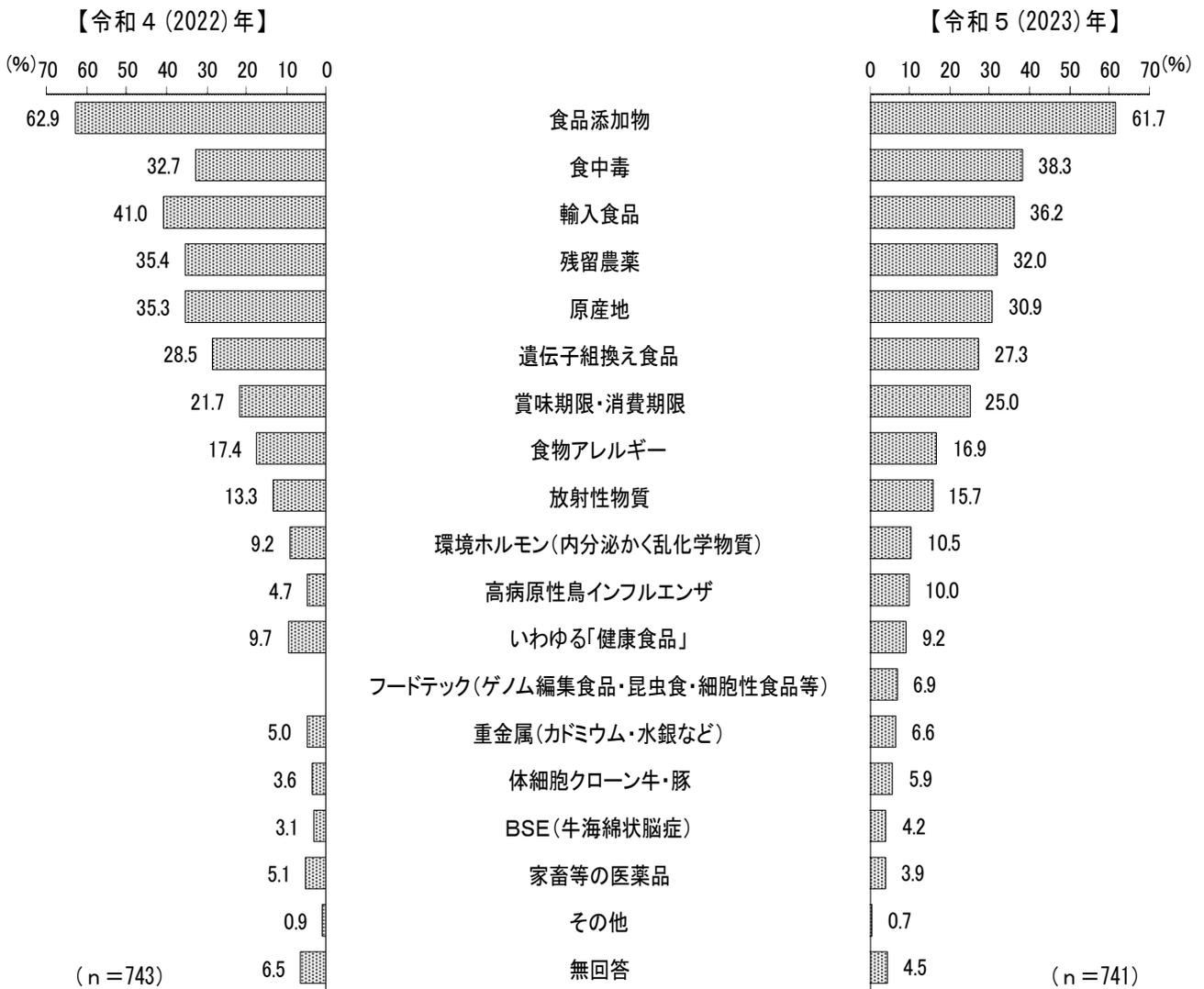
(2) 食品の安全性について不安に思うもの

(問36で選択肢「大いに感じている」、「多少は感じている」を選んだ方のみお答えください)

問37 あなたは、食品の安全性のどのような部分について不安を感じていますか。次の中から4つまで選んでください。 [n=741]

- ・ 食品添加物
- ・ 食中毒
- ・ 輸入食品
- ・ 残留農薬
- ・ 原産地

	令和4年	令和5年
(上位5項目)		
食品添加物	62.9%	61.7%
食中毒	32.7%	38.3%
輸入食品	41.0%	36.2%
残留農薬	35.4%	32.0%
原産地	35.3%	30.9%

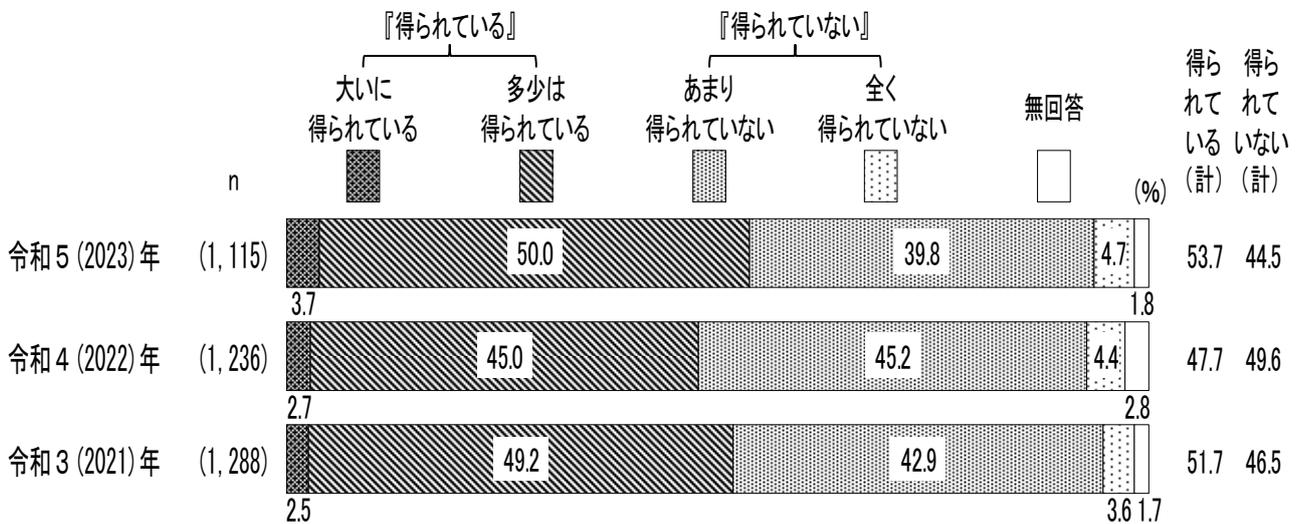


注) 「フードテック(ゲノム編集食品・昆虫食・細胞性食品等)」は令和5年で追加された項目。

(3) 食の安全に関する情報を得られているか

問38 あなたは、食の安全に関する正しい知識や情報を得られていると感じていますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,115]

	令和4年	令和5年
・ 大いに得られている	2.7%	3.7%
・ 多少は得られている	45.0%	50.0%
・ あまり得られていない	45.2%	39.8%
・ 全く得られていない	4.4%	4.7%

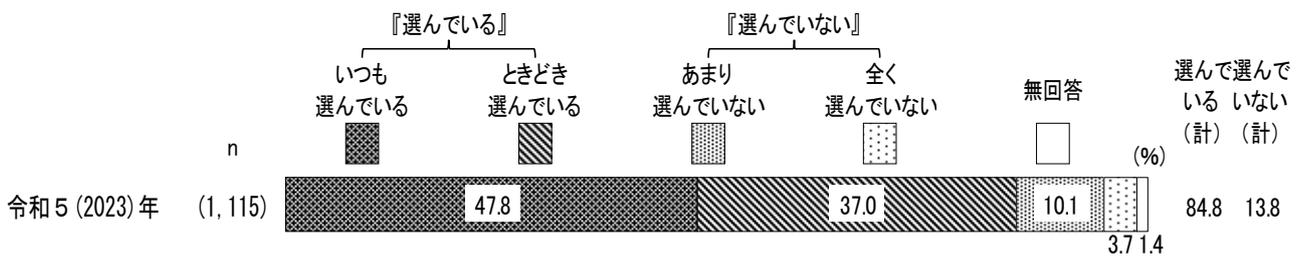


14 食に関する意識と実践について

(1) 生鮮食品購入の際、産地を意識しているか

問39 あなたは、お米や野菜、果物などの生鮮食品を購入する際、国産や県産など産地を意識して選んでいますか。次の中から1つ選んでください。 [n = 1, 115]

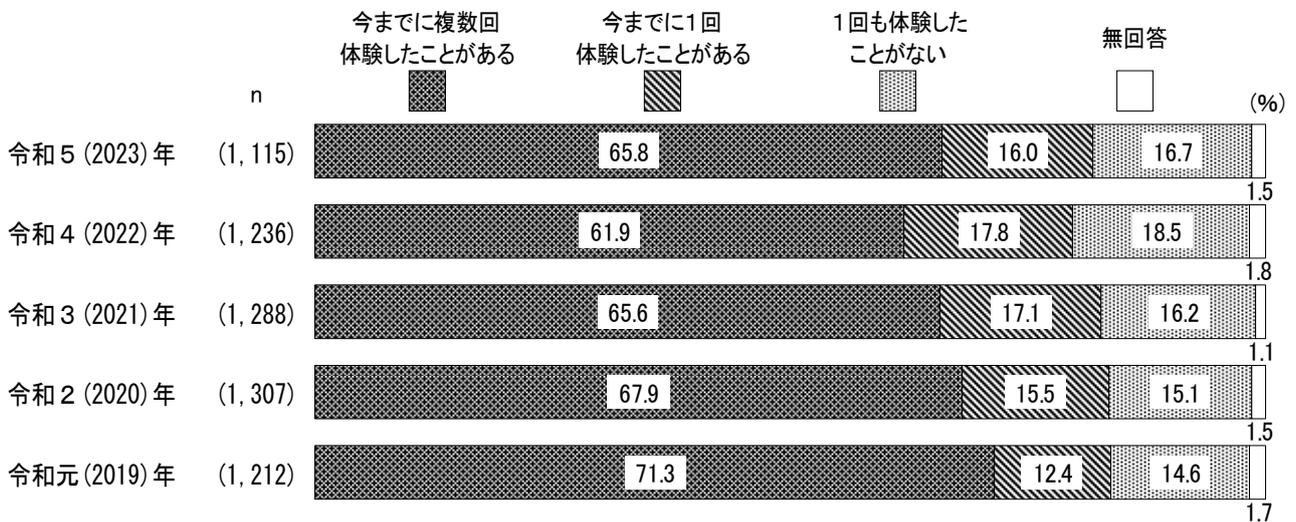
- ・ いつも選んでいる 47.8%
- ・ ときどき選んでいる 37.0%
- ・ あまり選んでいない 10.1%
- ・ 全く選んでいない 3.7%



(2) 農業体験をした経験

問40 あなたは、田植えやいちご狩り、乳搾りなど、農業体験をしたことがありますか。次の中から1つ選んでください。 [n = 1, 115]

- ・ 今までに複数回体験したことがある 令和4年 61.9% → 令和5年 65.8%
- ・ 今までに1回体験したことがある 17.8% → 16.0%
- ・ 1回も体験したことがない 18.5% → 16.7%



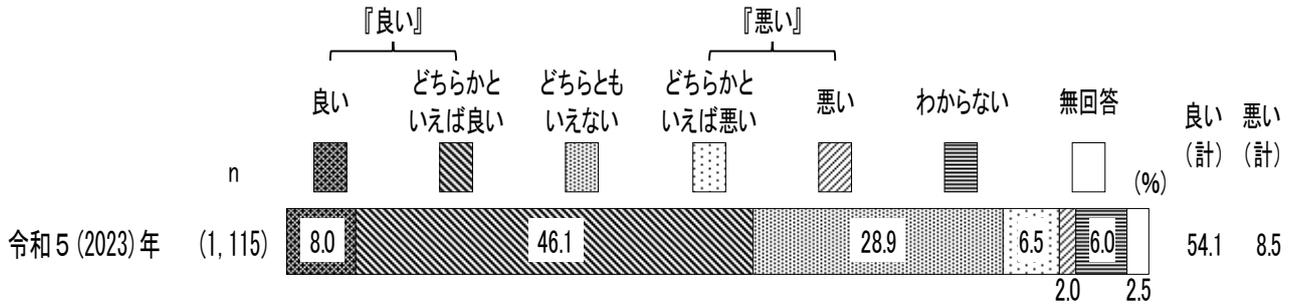
15 犯罪と治安対策について

(1) 県内の治安状況への認識

問41 あなたは、県内の治安についてどう感じますか。次の中から1つ選んでください。

[n = 1,115]

- | | |
|--------------|-------|
| | 令和5年 |
| ・ 良い | 8.0% |
| ・ どちらかといえば良い | 46.1% |
| ・ どちらともいえない | 28.9% |
| ・ どちらかといえば悪い | 6.5% |
| ・ 悪い | 2.0% |
| ・ わからない | 6.0% |



(2) 不安を感じる犯罪

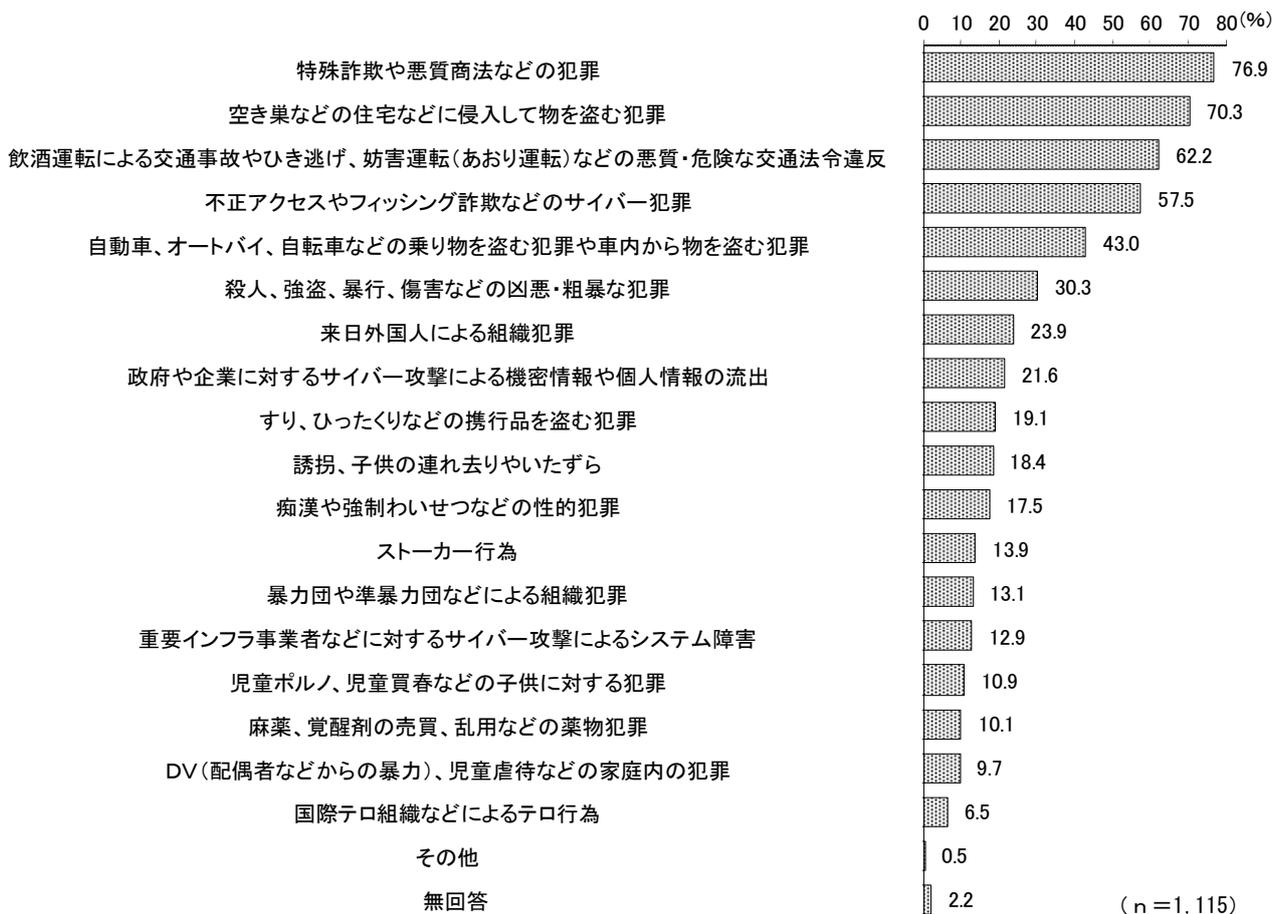
問42 社会が変化する中、あなたが、自分や身近な人が被害に遭うかもしれないと不安になる犯罪などは何ですか。次の中からいくつか選んでください。 [n=1,115]

(上位5項目)

令和5年

- ・ 特殊詐欺や悪質商法などの犯罪 76.9%
- ・ 空き巣などの住宅などに侵入して物を盗む犯罪 70.3%
- ・ 飲酒運転による交通事故やひき逃げ、妨害運転(あおり運転)などの悪質・危険な交通法令違反 62.2%
- ・ 不正アクセスやフィッシング詐欺などのサイバー犯罪 57.5%
- ・ 自動車、オートバイ、自転車などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪 43.0%

【令和5(2023)年】



(3) 交通事故を抑止するための対策

問43 交通事故を抑止する上で、あなたはどのような対策が効果的だと思いますか。次の中からいくつか選んでください。 [n=1,115]

	(上位5項目)	
	令和3年	令和5年
・ 飲酒運転や無免許運転、妨害運転などの悪質・危険な違反の取締り	55.9%	80.5%
・ 運転免許証の自主返納者に対する支援事業の強化	46.3%	54.9%
・ 自転車利用者に対する交通安全指導と悪質・危険な違反の取締り	48.7%	49.0%
・ 年齢や対象に応じた交通安全教育	50.5%	45.4%
・ 自動ブレーキ等が搭載された「安全運転サポート車」の普及促進	33.9%	42.6%

